

桜縁

oh・en
おうえん

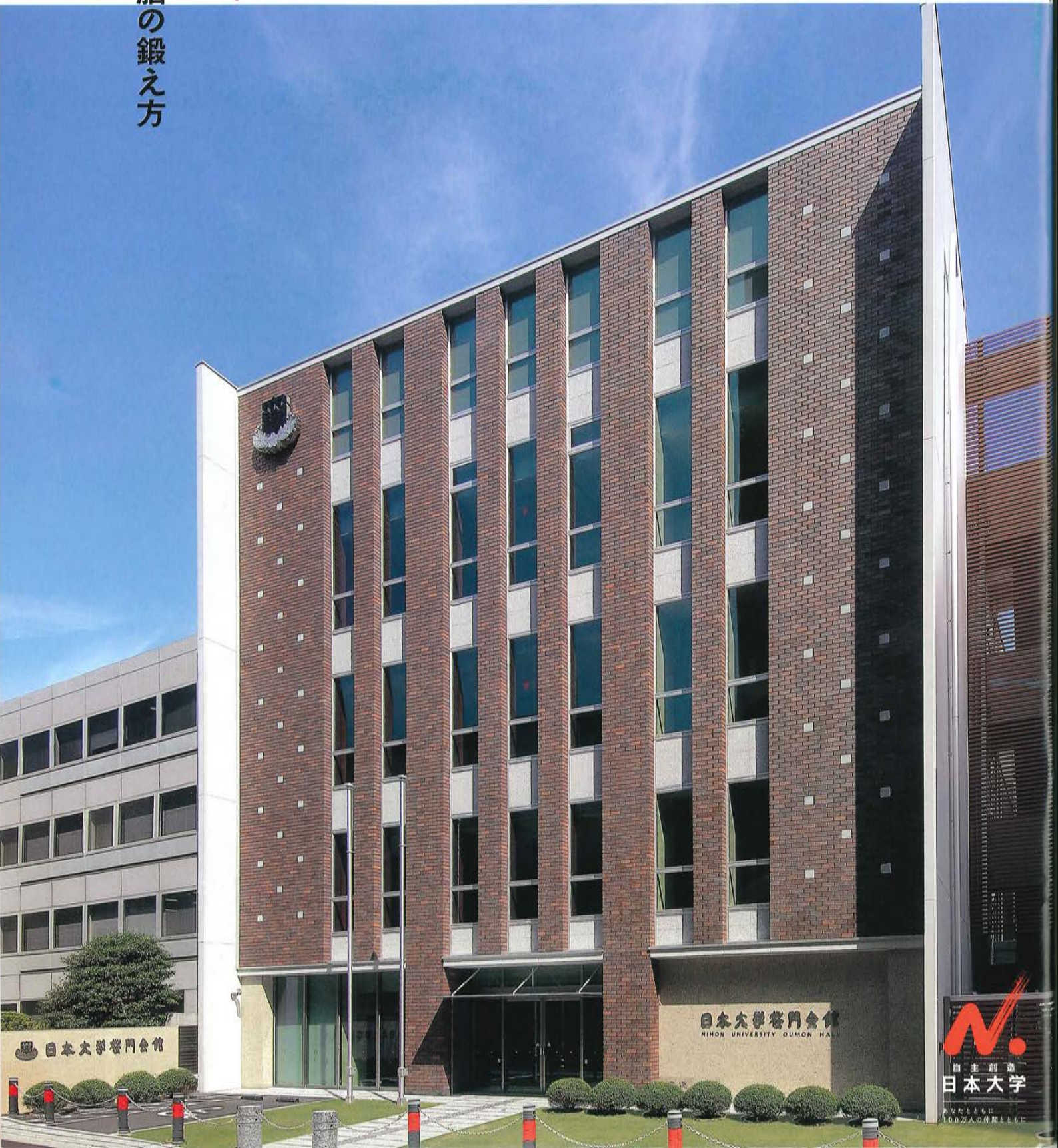
日本大学校友会
会報誌

2010.7

No. **17**

特集
勝利を手に入れる脳の鍛え方
— 毎日が劇的に変わる! —

祝・桜門会館オープン!





2 桜門会館オープン

4 NU Scoop

- 運動部紹介…… バスケットボール部
- サークル紹介…… 国際保健部
- キャンパスの人気者…… 木下直人さん
- 留学生紹介…… ホルツヒューター・カイルさん

8特集

勝利を手に入れる脳の鍛え方

— 毎日が劇的に変わる!? —

対談 林成之先生×田中ウルヴェ京さん
スポーツの現場からの証言
龍啓之助さん／川杉収二さん
脳科学を使ってプロに負けない
パッティングを実現する5つの法則



20 特別企画 バンクーバー五輪報告

銀メダリスト

長島圭一郎選手に聞く

入賞者
喜びの声



42 先輩にインタビュー 警察の仕事

警視庁 科学捜査研究所
第二法医科係長 飯塚直人さん
インタビュー……生産工学部 伊豫夏子さん
警視庁 本所警察署
交通課 横田沙織さん
千葉県警察 千葉東警察署
生活安全課 佐藤宏樹さん
山形県警察 鶴岡警察署
交通課 花輪豊宏さん



19 桜縁グラフ

現役復帰! 目指すはロンドン五輪
山本聖子選手

24 フロントランナー

日本アカデミー賞最優秀作品賞受賞監督
映画「沈まぬ太陽」監督 若松節朗さん

28 “ボクシング王国・沖縄”を築いた男

沖縄尚学高校ボクシング部監督 金城真吉さん

32 お店紹介

静岡県伊豆市 丸岩安藤わさび店

33 お宿紹介

北海道函館市 湯の川プリンスホテル渚亭

34 わが町の先生

“目のプロ”として地域医療に尽くす
滋賀県大津市 ののむら眼科医院長 野々村章栄先生

35 首長に聞く

日本一美しい村を目指して
岐阜県白川村 谷口 尚村長

38 ふるさと礼讃

神宮の宇治橋
三重県伊勢市 堀崎萱二さん

39 トップの肖像

旅館経営は日本文化を駆使した芸術活動
指宿白水館 下竹原和尚社長

48 夢に向かって!

海の生態を多くの人に知らせたい
魚津水族館 飼育員 村山早紀さん

49 お達者通信

校友会活動が生きがい
山口県下関市 吉村益吉さん(88歳)

50 日大人 百花繚乱

重要無形民俗文化財・大々神楽指導員 石川文彦さん

52 趣味悠々

三弦の糸の調べに魅せられて
岩手県盛岡市 鈴木玲子さん

53 支部・部会紹介

理工学部校友会
高知県支部

54 校友会ニュース

55 書籍紹介

56 お知らせ・掲示板

🎁 抽選で総勢46名さまにプレゼント!
詳しくはP.56をご覧ください。

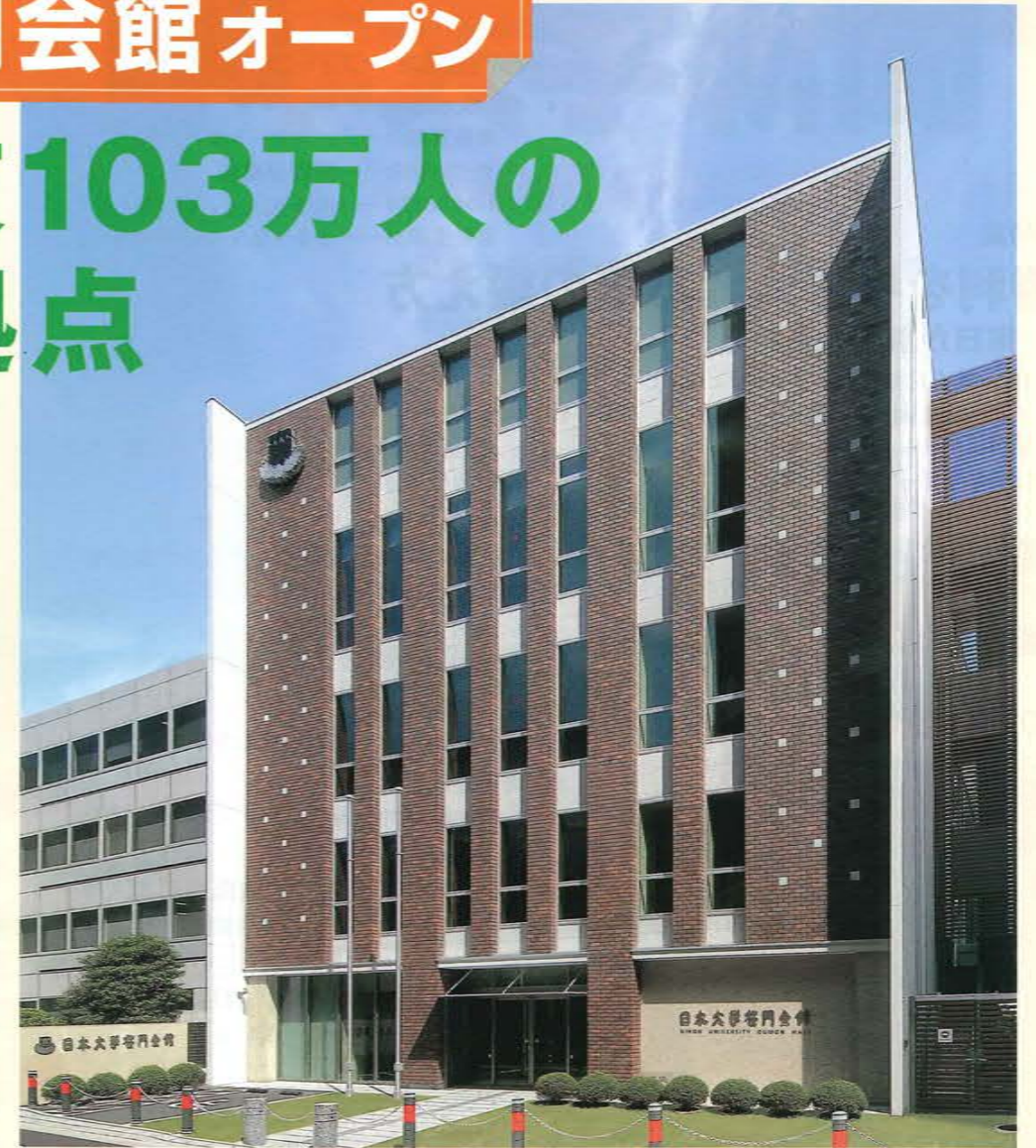
表紙の写真
落成した桜門会館

「桜縁」の由来

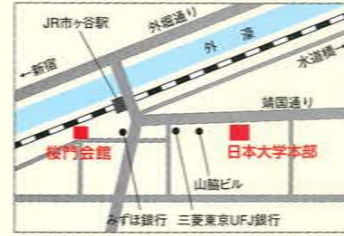
「桜」は日本大学の校章にもあしらわれた花です。この桜(日本大学)を媒介として大学、校友、在学生のそれぞれが新しい「縁」を結び、互いに助け合い、協力し合いながら発展していくためのコミュニケーション誌という思いを込めて「桜縁」と名付けました。また、校友の方には母校の活動と後輩を、在学生の方は仲間同士で「おうえん(応援)」しましょうという心を託しました。

桜門会館 オープン

校友103万人の 新拠点



田中会長寄贈の翡翠の大彫刻「鵬程万里」
鵬程万里は「莊子」(逍遙遊)に由来。想像上の巨大な鳥・鵬の飛び渡ろうとする道程は万里の彼方にあるということ。ここから、目標が遠大であること、将来が希望にあふれていることのため。校友会が目指すところが社大で、希望に満ちあふれていることを象徴している。



1F

ラウンジ、校の間

ラウンジ

2F

会長室、役員談話室、事務室

事務室

3F

会議室

大会議室

4F

桜ホール

桜ホール

日本大学校友会の新たな活動拠点となる校友会館「桜門会館」が完成し、6月30日、修祓式と竣工祝賀会が校友会役員および都道府県支部長、日本大学役員、千代田区五番町学生会長、工事関係者ら約170人が参加して行われました。

午後4時45分、会館入口で田中英壽校友会会長、酒井健夫日本大学総長らによるテープカットが行われると、参加者は3階に上りえられた修祓式会場に移動。修祓式では、三崎稲荷神社神職により祝詞奏上などが行われた後、田中会長、酒井総長らによる玉串奉奠が行われました。

その後、内覧会があり、午後6時から4階の「桜ホール」で竣工祝賀会が行われました。祝賀会であいさつに立った田中校友会会長は、自身が校友会本部事務局長に就任した平成13年、将来の校友会の拡大・発展には正会員制度の導入に加え、校友会館の建設が必要と考えて手掛けた事業であり、8年越しの夢が実現したというエピソードを披露しました。その中で「桜門会館が、(校友会会員制度の拡大・拡充により集められた)校友会の資金によって建てられたこ



3階の大会議室で行われた修祓式

とは、日本大学120年の歴史の中で画期的なこと。しかし、真に誇るべきは日大人の「絆」によって建てられたことであり、この会館には日大人の夢と希望が満ちています」と力説。そして、桜門会館が校友相互の親睦を深める場であるだけでなく、大学と社会をつなぐ架け橋になることを期待し、「この会館に魂を吹き込み、大きく育てるのは、大学の叡智と校友の母校への愛情です」と強調しました。

また、来賓として出席した酒井総長は、校友103万人の総意による完成を歓迎し、「校友の理解と融和を得て、新しい日大の発展を」と期待を込めた祝辞を述べました。



田中英壽校友会会長(中央)、酒井健夫日本大学総長(中央)らによるテープカット



祝辞を述べる酒井総長



祝賀会に集まった大学関係者



あいさつする田中会長

サークル紹介

松戸歯学部 国際保健部

平成12年設立。歯科医学生という立場で国際協力・支援を考え、活動している。13年からは毎年夏の南太平洋医療隊に参加し、歯科健診やフッ素洗口などの歯科保健活動を手伝いながらトンガの歯科医療の向上に貢献。国際交流団体・アジア太平洋歯科学会（APDSA）にも加盟し、世界の歯科医学生と交流を深めている。また、歯科保健医療国際協力協議会（JAICOH）学生部会では、活動報告や意見交換を行っている。

現部員数22人（男子9人、女子13人）



昨年度部長片山 沙織さん(右から2人目)
松戸歯学部歯学科5年

「APDSA総会が今年の8月16日～20日に日本で行われます。19日は松戸歯学部の見学会がありますので、多くの学生に参加してほしいと思っています」
(写真左から国際保健部の大先輩・有川量崇先生、宇治川極子さん、川島翼さん。右端が顧問の小林清吾教授)

南の島でのボランティア活動
歯科医を必要としている人たちが世界中にいる

“朝晩歯を磨く”“虫歯予防をする”“歯医者に行く”——日本では当たり前の歯科衛生事情も、開発途上国では状況が一変する。トンガでは「1本の歯ブラシをみんなで使い回すなんて当たり前」と話すのは、昨夏、南太平洋医療隊の活動に参加した片山沙織さん。学生のため医療行為はできないが、治療補助や歯磨きの指導を行い、途上国の歯科事情を体験した。

時間や旅費の問題で、海外のボランティア活動に参加できる部員は限られる。しかし、参加者からの報告や新年会と新入生歓迎会に企画するJAICOHや南太平洋医療隊の先生方の講演などから、部員全員が海外の歯科衛生の最新情報を知ることができる。全員で活動する機会は少ないが、海外の歯科衛生事情を知ること、共通の問題意識や目的をもつことができるという。

「日本は歯科医が増加傾向にあり、『将来は暗い』と考えている学生もいます。でも、海外ではわたしたちを必要とする地域がたくさんあります。視野を広くもてばやるべきことがたくさんあることを多くの歯科医学生に知ってほしいと思います」。



赤十字が行っている障がい者の施設OTAでの治療



歯磨き指導を受けるトンガの子供たち。幼いときからの指導を通して、予防歯科の考え方が広まり始めた

運動部紹介



ヤングジャークスの子供たちと 毎回50人ほどの参加者がある

保健体育審議会 バスケットボール部



川島淳一監督
昭和42年文理学部体育学科卒業

チーム名・レッドジャークス。昭和21年創部。全日本学生選手権大会12回、関東大学リーグ戦14回、関東学生選手権大会10回の優勝を誇る大学バスケットボール界の名門。全日本代表やプロ選手を多く輩出。ディフェンスを重視し、選手の能力や個性を生かした緻密なチームづくりが強さの秘訣。練習場は八幡山総合体育館。普段の練習は午後6時～9時だが、練習後も部員は自主的に筋力トレーニングを行うなど、勝利を目指して精進している。部員数59人（男子42人、女子17人）。

子供たちにバスケットボールの楽しさを 名門チームによるクリニック



未来のレッドジャークス

ヤングジャークスの「オリジナルTシャツ」を抽選で3名（Lサイズ2名/Sサイズ1名）さまにプレゼント。詳しくはP.55をご覧ください。

留学生紹介

東京

アメリカ・バージニア州



ホルツヒューター・カイルさん

大学院生物資源科学研究科生物環境科学専攻博士後期課程3年

生物資源科学部・生物環境科学研究センターの敷地内に「ストローベイルハウス」というちょっと変わった家がある。圧縮加工した藁のブロック（ストローベイル）を積み上げて竹で固定し、粘土を塗って漆喰で仕上げたシンプルな構造だが、壁が厚く、断熱・防火に優れたエコな建物である。ホルツヒューター・カイルさんは、ここで、日本にストローベイル建築を普及させるための研究をしている。「日本では壁の内部の湿気やかび防止が課題。でも施工を工夫すれば、十分防止できます」。

これまでに2度の来日経験がある。最初は大学4年のとき、長崎の大学で日本語を学んだ。2度目は大学卒業後、福岡正信の「わら一本の革命」に感動して、和歌山で英語教師をする傍ら、日本の自然農法を学んだ。幼いころから農業に関心があったが、日本での経験がそれをさらに大きくした。再び帰国し大学院で環境デザインや有機農法を研究するが、日本への強い関心が、日本大学を新たな研究の場として選ばせた。

日本の食生活も体に合った。「長崎で生活するうち

に体調がよくなったんですが、和食が体に合ったせいですね。今は、玄米と雑穀を混ぜたごはん、自ら育てた野菜や卵で食事を楽しんでいる。

これからも日本でストローベイルの研究開発を続けたいと言うカイルさん。東京での都市農業にも興味がある。「ビルの屋上で野菜を作ってレストランに出荷、そこで出た生ごみを肥料に野菜を作るシステムができたら素晴らしいです」。

日本の食文化や自然建築について熱く語るカイルさんに、かつて自然と寄り添って暮らしてきた日本人の姿を見る気がした。



ストローベイルの工法に魅せられて、日本の左官技術を学んだという。現在は、全国各地のストローベイルの施工を手伝うことも多い。

日本の伝統的な左官技術を学び
自給自足の生活をするのが夢



建物周辺には畑が作られ、有機農法で育った野菜が実る。自給自足の生活が夢だという

キャンパスの人気者



セント・パトリックス・デイ・パレードに参加
総勢58人を率いる



日本大学吹奏楽研究会
第50回定期演奏会
日時 9月11日(土) 17時～
場所 新宿区立新宿文化センター
住所 東京都新宿区新宿6-14-1
観覧希望の方は、「探検」17号をご持参ください。入場料無料でご覧いただけます。
詳細はWEBで「日大 吹奏楽」で検索

みんなの音楽と動きで表現するステージ
すべてうまくいった瞬間は最高です

にぎわう表参道に響き渡るマーチ——セント・パトリックス・デイを祝うパレードに、日本大学吹奏楽研究会のメンバーを率いるドラムメジャー・木下直人さんの姿があった。

ドラムメジャーとは、マーチングバンドの指揮者のこと。楽器を演奏しながらステージ上を縦横に動くマーチングステージでは、編曲から隊列のデザインまで、すべてを担当し指揮をする。

6歳からピアノを習い、小学校4年生からは吹奏楽を始め、トロンボーンを担当した。その後、中学、高校と吹奏楽を続けてきた経験がある。そこで培われた音楽の素養と指導力が買われ、仲間からドラムメジャーに推された。それからは、編曲に始まり、安全で美しい隊列のデザインとその指導、ドラムメジャーとしての練習、時にはトロンボーンを担当するという忙しさ！時間をうまく使わなければ、こなせない激務である。

苦勞も多いが、やりがいも見いだせた。「演奏曲を編曲できるので自分の色を出せるし、楽器演奏と行進を同時にこなすための指導は面白い。ドラムメジャーを任せてもらってよかったと思っています」。

吹奏楽研究会の定期演奏会は、今年、第50回を迎える。1年生のときから、この演奏会を担う重責は覚悟していた。以前は、税理士を目指しダブルスクールで勉強していたが、3年生の後半からは定期演奏会を成功させるため、吹奏楽の活動に重点を置いた。

「みんなで協力して音を合わせて作品を作り上げ、パレードや定期演奏会に臨んだ後の達成感は何とも言えません」。

今秋の定期演奏会では、木下さんの指揮の下、軽快な音楽と一糸乱れぬ美しいステージが繰り広げられるだろう。

木下直人さん

経済学部産業経営学科4年

naoto kinoshita

いつも負けパターンに陥る
いざというときに緊張して、普段の力が出せない
実力に見合った結果が得られない
自分に自信がもてない
そんな経験をもつ多くの人たちのために
“勝負脳”のしくみとその鍛え方を伝授しよう



林 成之

(はやし・なりゆき) 昭和14年富山県生まれ。昭和45年本学大学院医学研究科博士課程修了後、マイアミ大学医学部脳神経外科、同大学救命救急センターに留学。平成元年、本学医学部附属板橋病院救命救急センター部長に就任以降、数多くの救急患者の治療に取り組む。その間、数々の画期的治療法を開発。特に多くの脳死寸前の患者を救った脳低温療法では世界的にその名を知られる。本学医学部教授、マイアミ大学脳神経外科生涯臨床教授を経て、平成18年、本学大学院総合科学研究科教授。最近では、脳神経外科医の視点から、水泳の北島康介選手をはじめとする一流のアスリートたちを指導し、飛躍的な成果を挙げている。主な著書『勝負脳』の鍛え方』『脳に悪い7つの習慣』。

毎日 が劇的に変わる!? 勝利 の鍛え方 を 手 に 入 れ る

人間には誰でも“勝つために戦略を練る本能”が備わっている。

この本能を“勝負脳”と名付けて、

そのしくみを解明し、多くのアスリ

トトたちに飛躍的な進歩をもたらし

たのが、大学院総合科学研究科教授

で脳神経外科医の林成之先生である。



ること。そして、目線を水平にする
こと。
田中 ロダンの「考える人」の形じゃ、
集中して考えられない？(笑)
林 良い姿勢と水平目線で、体のバ
ランスが整う。目線が水平ならば、
きちんとした情報が脳に入ってくる。
これで「空間を認知する脳」空間認知
脳が刺激されます。良い例がイチ
ロー選手。バッターボックスに入っ
て、投手へ向かって垂直にバットを
立てるでしょ。あれで目線の水平を
整えているんだと思いますよ。
田中 逆立ちして泳いでいても、周
りのことが正確に理解できるときは、
目線が水平で、体のバランスが良か
ったんですね。
林 勉強のできる人も目は傾いてい
ませんね。目が傾くと左右の目から
入る情報にわずかなずれが生じ、脳
はそれを補正する必要が出てくる。

総合科学研究科教授

メンタルトレーナー

【対談】 林 成之先生 × 田中 ウルヴェ 京さん

昭和45年大学院医学研究科博士後期課程修了

平成元年文理学部体育学科卒業

心・技・体の調和は 脳がつくる

「前から一度お話をお聞きしたいと思っていました。お会いできるなんてうれしい!」と、元シンクロナイズドスイミングのオリンピック日本代表選手で銅メダリスト、現在はメンタルトレーナーとして活躍している田中ウルヴェ京さん。「あのシンクロの田中さんでしょ。いろんな話が聞きたいね。いっぱい会いたかったんだ」とおっしゃる大学院総合科学研究科教授で脳神経外科医の林成之先生。会う前からお互いにシンパシーを感じていたお二人は、会ったとたん意気投合。早速、「ゾーン」という聞き慣れない言葉から話が始まった。



ゾーンは
集中力が極まる
カプセルのようなもの

林 早速だけれど、田中さんは「ゾ
ーン」に入ったこと、ある？
田中 選手時代に一度だけ経験があ
ります。そのときは分からなくて、
あとから「ゾーンだった」と気付き
ました。試合当日、とにかく目覚め
たときから調子が良いけれど、「調子
が良い」という自覚はない。練習で
は、自分が水になったみたい自由に
動くことができるんです。かとい
って「今日はいける」という気負い
もない。とにかく気持ちがいい。コ
ーチが「練習はもう十分だ」と言
うくらい、完成度が高かったみたい
です。いつもは水の中で息苦しさを
感じるんですが、そのときは、まっ
たく感じなかった。あんな経験は、

田中 ウルヴェ 京

(たなか・うるうえ・みやこ) 昭和42年東京都生まれ。本学在学中の昭和63年、ソウル五輪シンクロにおいて小谷実可子さんとのデュエットで銅メダル獲得。五輪後に引退。平成3年に渡米。セントメリーズ大学院でスポーツ心理学を専攻し、修士課程修了。11年からは米国で認知行動療法、スポーツカウンセリングなどを学ぶが、その間も日本代表コーチなどに就任、後進を育てる。13年に心と身体の健康をテーマに起業。(株)MJコンテス取締役。五輪選手から一般に向けてメンタルトレーニングの指導や企業研修、講演に活躍。著書、訳書多数。夫はフランス人。2児の母でもある。

そのときだけでした。

林 「ゾーン」という言葉はスポーツの世界でよく使われるけれど、集中力が極まって思考や感情を忘れてしまいうほど、競技に没頭できる状態のことですね。
田中 そう、無我・無心の境地に入るんです。苦しくもないし。

林 でも、リラクセスしているわけじゃなくて、頭は最高潮に回っているんだな。ゾーンというのは文字どおり「ゾーン」なんです。登山のとき、頂上は高く遠いところにあるから難儀だと思ってしまう。でも、自分の周囲にゾーンをつくり、その中で集中して足を動かし、ものを見て歩けば、いつの間にか頂上に立っている! というのがゾーンのしくみ。
田中 すごーい! 今の話、すごくイメージが分かります。いつの間にか水と一体化できて、最高の力を発

揮できたゾーンって、そんなに大きくないもの。

林 田中さんのゾーンってどのくらい大きいかな。感覚からいくと、すごく狭い。でも、そこに入ったら、こっちのものと思える場所。

林 ゴーンはスポーツの世界だけではなくて、普段の生活でもつくることができるとは。ほくほくトイレとか風呂の中だな。そこではすごく集中できて、驚くほどのアイデアが出てきますよ。

空間認知脳を使えば、 ゾーンは誰でもつくれる

田中 ゴーンって、どうすればできるのでしょうか?
林 ゴーンをつくるためには条件があるんです。まず、良い姿勢をつ

ずれを直すのは0.0何秒という瞬間ですが、それだけで能力が落ちるからね。運動ができる人は頭も良い。まさに「文武両脳」。そういう状態で、集中力を発揮すればゾーンはできま

田中 「姿勢を正しくしなさい」というのは、躰(からだ)だけではなく、理(こと)に合ったことなんですね。

林 それから、言語中枢にも空間を認知する力があるってね。言語中枢は女の人が発達しているから、女の人は話しているうちに、散らばった知識がまとまっちゃう。

田中 わたしが指導しているコピーキング(注)で重要なのが「セルフトーク」、いわゆる独り言に気付くことなんです。独り言を書き出していくと、自分が考えていることや無意識に発している言葉が、感情や行動に影響していることが分かります。そうい

うときも、女の人の方が、わーっと書いて自己解決していきまーすね。

林 日記をつけるのも一つの方法だけれど、もっと効果的なのは、成功したときの自分を実況放送すること。脳の中に入っている成功のときの情報を言葉でつぶやくことで、脳の回路が成功したときの状況を再構成してくれまーす。

田中 わたし、一度だけ実況放送しました。それが、メダルを取ったソウルオリンピックのとき。良い演技ができたときのことをこと細かにつぶやきながら歩いて演技に向かいました。日記もつけていた。それがメダルにつながったのかな?(笑)

林 今、脳トレがはやっているけれど、あれは作業記憶。作業して記憶したものは3日で忘れまーす。それに、脳は新しいことに瞬時に反応するからね。台所に用事で行くこうとして、

(注) コーピング(coping)
copeは負けずに戦う、難局に対処するという意味で、認知行動療法に基づいたストレス対処法のこと。ストレスに対して対症療法的意味合いが強い日本の対応に対し、コーピングは、ストレスを自らがコントロールするノウハウを身に付けることで、逆にストレスを味方に付け、人生をより豊かに過ごせることを目的としている。



コーチが選手をどんなに鍛えようとしても、お互いに尊敬していなければ、いざというときに、選手は緊張して力が出せないんですよ。

林 人間はね、脳がもつ「統一貫性」という基準でものを理解しようとしていきます。これは、筋が通らなかつたり、間違つたものは「イヤ」という本能のこと。女性がイケメン、男性が美人を好きなのは、統一貫性の表れ(笑)。この脳の性質は、環境の中でも統一貫性を保とうとするんです。

田中 環境の統一貫性？
林 そう、試合になるとあがつちやつて実力が出せないのは、環境の統一貫性が外れてしまうから。「いつもと違う」と思うと、普段の力がなかなか出せないでしょ。この前、ぼく、手帳をなくしちゃつてね。幸い戻ってきたけど、その間の数日間、仕事量は半減しました。手帳が手元にあるという環境の統一貫性が外れちゃつたんだね。

田中 どこに行っても、いつもの場所にいるように考える「メンタルリ

ふと仕事のこと考えたら、台所に何をしに行ったか分からなくなつちゃうでしょ。でも、体験記憶は脳に長く留まります。実況放送したり、日記をつけたりするのは体験記憶。脳は、何度も考え直す習慣を身に付けると能力を発揮するんです。

いざというときにあがつてしまつて結果が出せない原因

「ハーサル」という言葉がありますが、いつも試合だと思つて練習するといふのも、環境の統一貫性を整えるやり方ですね。

勝ち負けではなく、勝ち方や達成の仕方にこだわる

田中 ソウル五輪でメダルを取つたとき、ペアを組んだ小谷実可子さんと「演技でフィニッシュのポーズが決まつても、終わりじゃないって思おうね」と決めました。緊張が途切れちゃいけないという気持ちから出たことですが……。

林 それ、すごく大切なこと！ 試合中、勝利やゴールを意識したらおしまい。脳は正直だから、ゴール！と思つた瞬間に、脳の血流量が減つて、能力が一瞬のうちに落ちちゃう。

田中 えっ、そんな状況になるんですか。たとえば、シンクロの選手たちが、演技の最後の「リフト」をよく失敗しやすいのは、脳に「これで最後だ」と思わせていたからなんですね。

林 だから、最後の最後まで「勝つ

林 そう！ でも、最近、みんなの「尊敬する力」が落ちてきている気がするからね。脳には尊敬しようとする力があるのだから、それを使わなきゃ！
田中 先生と話していると、どんなんエネルギーがわいてきます。同期発火したかな(笑)。わたし、こういう気持ちになったときは、プールで思いっきり泳ぐんですよ。



先生と話していると、どんどんエネルギーがわいてきます。同期発火したかな(笑)。

た「ゴールだ」と思つちゃダメ。勝負より、どんな勝ち方をするかにこだわるのが重要なんです。以前、スポーツをしている子供から「負けると落ち込んじゃうけれど、どうしたらいいか」と質問されたとき、「人間の能力は勝つたと思つた瞬間に停止する。負けたなら、その理由を考えて克服しよう。そうすれば確実にレベルが上がる。だから、負けたらワクワクしなくちゃ」って答えました。

田中 確かにそうですね。以前、幕内だったのに序二段まで落ちた力士に相談を受けました。勝ち負けを気にするとおっしゃるので、どうして負けたかを日記に書くよう勧めました。そうしたら、連勝できるようになりました。

林 日本の競泳チームも「あと10mでゴールだ」と思っていたから力が出せなかつた。だから、見ている人が感動するような勝ち方にこだわ

れ！と指導しました。そしたら北島康介選手はね、北京五輪でゴールタッチして、振り返って電光掲示板を見たところが本当のゴールだと考えて最後の10mを泳いだ。それがあの金メダルですよ。

尊敬しなければいい人間関係は築けない

林 脳では、物事を判断するときに、感情をつかさどる細胞のフィリタールを通ります。好きな人の話は聞きたくないし、嫌いな人の話は聞きたくないということは、こうして起こるんです。だから、自分の話をきちんと伝えたいなら、相手を好きになり、相手にも自分を好きになつてもらおうこと。それ以上に「お互いを尊敬する」という気持ちが重要ですね。尊敬がないと、良好で互いを高め合う人間関係は成立しませんよ。上司は成果ばかりを求めると、部下に尊敬されない。コーチが選手をどんなに鍛え

スポーツでも仕事でも強いチームを築きたい そのためにはメンバーの責任感と自主性が必要

「無の境地」という感じで、勝ち負けにもこだわっていません。でも前の日まで試合展開を考え抜いて、多少寝不足の状態でも迎えたものの、頭は覚醒して、試合への適度の緊張感と集中力が上がっているときだと言えそうです。なのに、ほとんど力が抜けているというふうな状態で、試合に入ると、勝負もなくなり、すっと「無」に入ります。

だけど、ぼくは、何をやっても全部裏目に出るといって「逆ゾーン」に入り込むことも体験していますよ(笑)。

ラグビーの練習は、基本動作の繰り返しを重要視します。決まったことを正確にできることが大切だからです。しかし、それだけではありません。スポーツ選手は試合中、頭で考えるより体が無意識に動いていると思われがちですが、実際は瞬時にものを考えて体が動いているのです。それだけの状況判断ができるようになるためには、基本を大切に練習は欠かせません。

チームプレーに大切なのは一人一人が実力を磨くこと

ラグビーはチーム競技です。15人が同じことを考え、同じベクトルで動けば、普段以上の力を発揮できます。今まで、さまざまなチームで試合に臨みましたが、チームメートの気持ちや手に取るように分かるときは、臨機応変に動いても歯車がうまくかみ合い、試合をしていても心地よかったです。こういうときのチームはとても強かったですよ。でも、そういうチームをつくるには、監督やコーチの役割が大きいと思います。選手一人一人を理解してコントロールし、一致団結させていく力が問われます。ぼくも長い監督に恵まれて、実力を発揮することができました。

しかし、それ以前に、選手一人一人が有能でなければ、強いチームにはなりません。メンバーがいるからと安心せず、個人が自立し、責任をもって行動し、技術を磨いていくことが重要です。これは、スポーツの世界に留まりません。今、ぼくは医療チームの一員ですが、単に自分の役割を果たすだけでなく、自分に与えられた分野を極めてこそ、チームの本当の力が発揮されるのだと確信しています。



(りゅう・けいのすけ) 昭和49年東京都生まれ。博士(医学)。本学在学中は、保健体育審議会ラグビー部に所属。全国大学選手権出場ベスト4入賞2回。元7人制ラグビー日本代表。卒業後は、トップリーグのリコーラグビー部に所属し、東日本ベスト4入賞2回。その間に医師免許を取得、研修医生活を送る。平成17年引退。また、この間、大学院医学研究科で研究を行い、医学博士号取得。現在、日本大学医学部付属板橋病院整形外科勤務。

日本大学医学部整形外科学分野助教 龍啓之助さん

平成19年大学院医学研究科修了

適度の緊張感なしに「ゾーン」には入らない

わたしも「ゾーン」という状態を経験したことがあります。超一流の選手は、ゾーンに入っていることを意識できるようですが、多くの場合は、あとから「そういえば」という感じでした。

大学時代、フォワードでありながら、1試合で4トライしたことがあります。あのときは、ゾーンに入っていたのではないかと思います。自分で判断して走った位置にボールが飛び込んでくる。ボールを持って走れば、タックルしてくる相手をうまくかわしてトライできる。自分の判断がすべていい方向にいきました。いつもと変わらずプレーしているつもりなのに、いつもよりボールや相手がよく見えていたような気がします。でも、試合中は



学生時代、保健体育審議会ラグビー部のレギュラーとして活躍する龍先生



オリンピックという世界のひのき舞台 選手たちがいつもの実力を発揮できるために

日本オリンピック委員会(JOC)では、「オリンピックの理念にのっとり、オリンピックムーブメントを推進し、スポーツを通じて世界平和の維持と国際友好親善に貢献するとともに、スポーツ選手の育成・強化を図り、もってスポーツ振興に寄与すること」を理念として、オリンピック競技大会及び、それに準ずる国際総合競技大会への選手派遣事業やオリンピックムーブメントと推進を目的とした事業を2本柱として活動を展開しています。

4年に一度開催されるオリンピックでは、選手たちが平常心で競技に向かい、いつもの実力を発揮できるよう、さまざまな面で配慮するのが私たちJOCの仕事の一つです。

通常、選手はオリンピック開催期間中、開催地が設置する選手村で過ごします。食事やさまざまな国の人に対応できるように工夫されていますが、自国で過ごすような雰囲気にはならず、緊張感を強いられることも多いのが現実です。そこで、スポーツ大国と呼ばれる国々では、選手村とは別に、自国の拠点施設を造り、選手をリラックスさせるよう配慮をしてきました。

日本でも、平成10年に開催された長野冬季オリンピック大会から、「ジャパンハウス」と称する施設を設置することになりました。最近ではバンクーバー、その前の北京オリンピックでも、会場近くのホテルを利用し、選手の憩いの場をつくりました。応援をしにきた家族とひとときを過ごしたり、日本食を楽しんだり、畳を敷いて柔道の練習ができるようなスペースをつくることもあります。

利便性の高い場所に「ジャパンハウス」を設置するためには、オリンピックが終了した直後から、次回開催地に飛び、準備に入ります。慣れない土地での交渉事は大変ですが、選手たちが存分に力を発揮できるのであればと、縁の下の力持ちとして奮闘しています。

財団法人 日本オリンピック委員会事務局顧問 川杉 収二さん

昭和44年文理学部英文学科卒業



(かわすぎ・しゅうじ) 昭和21年東京都生まれ。本学在学中に体育の教師を目指す。教職課程では、故古橋廣之進さんの指導も受けた。本学卒業後、(財)日本体育協会に就職。平成元年、日本体育協会から日本オリンピック委員会(JOC)が独立したのを機に、同委員会に移籍。15年、事務局長に就任。本年4月より現職。

ONE POINT

■ 脳は、新しい情報を瞬時にキャッチして、それまでの情報を忘れる性質をもっている。ボールとカップの位置関係やラインを確認したら、何度も見ないこと。何度も見ると情報がずれてしまい、最初の正しい情報を忘れてしまうからだ。構えが長いのも考えもの。体の軸がずれてしまう原因になってしまうよ。
■ 脳は一つ覚えると、一つ忘れるもの。パターを打つときは、順番に大切なポイントをつぶやきながら体を動かそう。自分の動きを自分で“実況放送”することで、脳は覚えている情報を呼び覚ましてくれる。

法則
その

3

ボールとカップの間に、
太いラインを描く

カップにボールを入れるラインを頭に描こう。ラインが細いと、脳はラインを間違っ理解してしまいがち。ボールの直径より少し細いくらいの太さにするのがポイント。そうすれば、脳は、しっかりとガイドラインを把握することが出来る。



法則
その

4

カップは
3つあると思え



上りのラインの場合

カップをゴールと思ったらダメ。脳はそこで停止しておしまい！ そう思わないように、カップの前後に2つのカップを置こう。下りならばカップの前に2つ、上りならば、カップの奥に2つおくのがポイント。そうすると本物のカップを意識することなく、ボールを打つことができる。3つのカップを連動させ、水平目線を合わせれば大丈夫。そのとき「ボールを入れるのではなく、どうボールを入れるか」考えて！

法則
その

5

入りそうにないなど
思ったら、
いったんグリーン
の外に出よう

脳は、同じ環境にいと気持ちを入れ替えられない。でも、いったんその環境から外れると、新しい気持ちになるもの。変だなと思ったら、グリーンの中で悩むより、いったんグリーンから離れば、新しい情報の下、やり直すことができるのだ。



法則
その

1

「利き目」が
ボールの方向を定める

① 親指と人差し指で円をつくって、両目でボールを見て、ボールを円の中に入れる。
② 次にそれぞれ片目をつぶってボールを見て、きちんと円の中にボールが入って見える目が利き目。右目であれば、利き目は右手。
★利き目はどっち？



脳科学を使って
プロに負けない
パッティングを
実現する
5つの法則

林 成之先生監修

動いていないボールをカップに入れるだけに、ほんのわずかな体や心の動きがスコアに大きく影響するゴルフ——極めてメンタルなスポーツである。

特にパッティングは、たった30cmの距離であっても、なかなか思うようにいかない。しかし、300ヤード飛ばしても1打、30cmの距離を外しても1打というルールならば、正確なパッティングの技術を身に付けたいと思うのは当然のこと。

そこで、あなたの脳に備わっている“勝負脳”を駆使して、パッティングが劇的に向上する極意を紹介しよう。

法則
その

2

目ではなく
目線で見ると



ボールとカップの位置。あなたの脳は、空間認知という機能でその位置関係を把握する。脳に正しい情報を入れるためには水平目線を確保すること。体の軸を真っすぐにして、目ではなく目線でラインを見よう。正しい目線に添ってパターを平行に動かすことがポイント。目線が傾くとわずかなずれが生じ、ボールはカップに入らない。体の軸が真っすぐであれば、パターはボールの芯にしっかりと当たるはず。

レッスン、ありがとうございました♪

日本大学スリーカレッジゴルフクラブ



写真中央は林成之先生

渡辺 由理 (わたなべ ゆり)
経済学部経済学科4年
体の軸を真っすぐにすること、水平目線をとること、いろいろ教えていただきましたが、一つ一つ身に付くまでには時間がかかりそう……。必要なポイントを確認しながら、がんばりたいです。(写真左)

二見 裕子 (ふたみ ゆうこ)
経済学部産業経営学科3年
今まで感覚でパターを打っていたのですが、今回、自分の体のいろいろな面からパターをとらえ、正しく体を使うと、思ったとおり打てるのだということが分かりました。とてもいい勉強になりました。(写真右)

取材協力/ニュー軽米カントリークラブ

山本 聖子選手 Seiko Yamamoto

平成16年通信教育部商学部商業学科卒業

現役復帰したママさんレスラー
目指せ！ ロンドン・オリンピック

練習をしていても、試合をしていても、今ほど楽しいと感じたことはありません。毎日、充実した時間を過ごしています。いったんは引退しましたが、北京でオリンピックを観戦し、オリンピックムード色の華やいた空気に触れ、もう一度、晴れの舞台に立ちたいと思いました。夫と子供がいて、3年近いブランクもあり、復帰には不安もありましたが、夫や周囲の理解と協力があった、今は2年後のロンドンに照準を合わせています。応援よろしくをお願いします！

(やまもと せいこ) 昭和55年神奈川県生まれ。5歳からレスリングを始め、本学在学中の平成11年から13年までレスリング世界選手権3連覇。卒業後の15年の同大会でも優勝し、これまでに4度、世界選手権を制覇。18年に引退し、翌年第一子を出産。昨年現役復帰し、ロンドン・オリンピックで優勝。現在、ロンドン五輪を目指してトレーニング中。

山本聖子選手の「サイン色紙」を抽選で3名さまにプレゼント。詳しくはP.56をご覧ください。

● Special edition
特集

「今だから言えるけれど、引退後のわたしは、大変なストレスを抱え、バランスの悪い精神状態でした」と、田中さんは当時を振り返る。21歳にしてオリンピックで銅メダルを獲得し、ある意味“頂点”を経験した。世間からちやほやされ、「偉くなった」と勘違いしたという。しかし、時間とともに忘れられていく自分……。プライドが許さなかった。何もかも面倒になり、人生が嫌になったこともあったという。その後、アメリカでスポーツ心理学を学び、実生活で何度も挫折を経験していくうちに、自分を客観視する力を身に付けていった。

田中さんは今、悩みを抱える人に明るく声を掛ける。「自分の欠点も分からず、なんでも他人のせいにして、自分の弱さを見て見ぬふりをしている人より、悩んでいるあなたは、ずっと強い人間なんですよ」。弱かった自分を冷静に見つめ、それを克服してきた強さが言わせる言葉である。



田中さんの近著
「書くだけで人生が変わる[感謝日記]
～すぐに幸福を引き寄せる30の方法～」
(実業之日本社)

昭和63年、ソウル五輪・シnokロデュエット決勝で銅メダルを獲得した演技。奥が田中さん、手前が小谷さん



メダル獲得後に見えてきた本当の人生
——田中ウルヴェ京さんのメンタルストーリー——

「人間の脳細胞数は3歳でピークになります。それから7歳までの間にいらぬ細胞が排除され、最終的に大人の脳になっていきます。でも、いらぬ細胞をそのまま引きずっている人が実に多い」と言う林先生。この時期にやめさせなければならない習慣があると、お母さんたちに子育て論を展開中。さて、気になる「やめさせる習慣」とは？

- 興味をもたない・感動しない姿勢
- 否定語（「むりむり」「できない」「たいへん」）を使う
- 「あとで」という言葉を使う
- 人を尊敬することをしない
- 人の話を聞き流す
- 素直に全力投球しない
- 「だいたい」で終わらせる

さてさて、思い当たる人は少なくないはず。でも、今さら、どうにもならない？ いや、あきらめるのはまだ早い。今からでも、この習慣を断ち切る努力をすれば、能力が発揮できるというのが先生の持論。まずは、今日からでも気を付けて実行してみては？

林先生の近著
「脳に悪い7つの習慣」
(幻冬舎新書)



能力を発揮できる子供に育てるために、「お母さんを教育！」
——林成之先生の脳の理論を子育てに——

NEW KARUMAI COUNTRY CLUB

緑と季節に彩られる北東北随一の名門コース ニュー軽米カントリークラブ

桜コース、白樺コース、七竈コースの計27ホールを有するゴルフ場。春は桜吹雪、夏はグリーンに映える白樺の木々、秋は赤い実を付ける七竈を眺めながらプレーが楽しめる。ゴルフ場内に、ログハウス調のコテージが宿泊施設として用意されており、プレーだけでなく、自然に抱かれながらゆったりとしたひとときを過ごすことができる。

岩手県九戸郡軽米町大字円子2-4-1
TEL 0195-45-3333 FAX 0195-45-3330
JR東北新幹線八戸駅より車で30分
<http://www.newkarumai.com/>



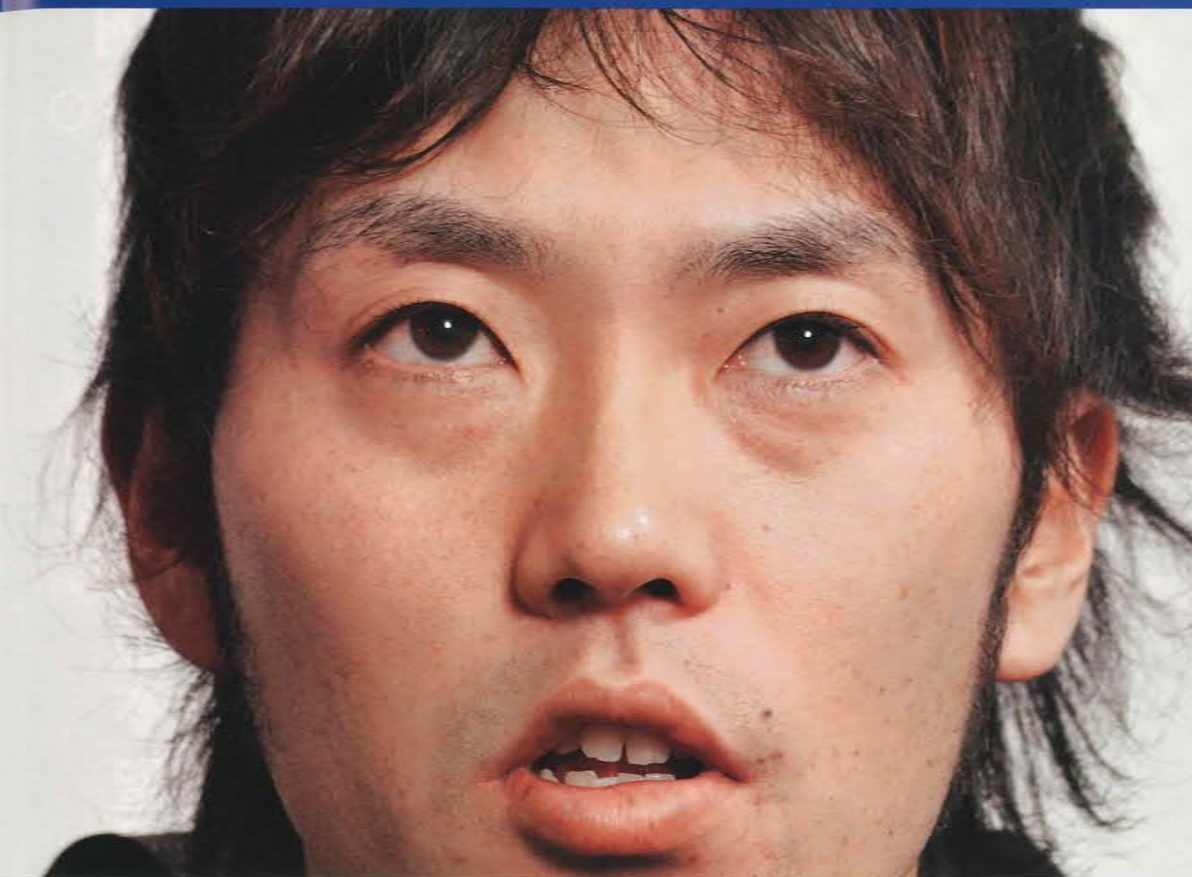
矢野正彦副社長
昭和44年法学部経営法学科卒業

special thanks



銀メダリスト

長島圭



一郎 選手に聞く

過去の冬季オリンピックで、本学出身の選手が獲得したメダルは6個。そして今回、7個目のメダルをもたらしたのが「世界一低く、美しいフォーム」で氷上を疾走した長島圭一郎選手である。短距離デビューは18歳。遅咲きのスプリンターが大輪の花を咲かせた。

メダルを取りにいったバンクーバー

銀メダルおめでとう、ございます。1回目6位から、見事メダルを獲得しましたね。

ありがとうございます。1回目は完全にミスしましたね。「あ、やっちゃったな」って思いました。製氷機のトラブルでスタートが遅れ、いつ試合が始まるか分からなかったもので、ウォーミングアップがうまくできなかったのが原因です。皆の実力が拮抗していましたから、2回目は足がちぎれても、転んでも攻めなければならぬ状況でした。トータルで70秒を切ったのは、当初考えていたとおりの

結果でしたが、自分より上手がいましたね。

前回のトリノは、世界で戦える実力がないのに代表に選ばれたので、13位という結果は当然だったと思います。今回は、4年間勝つために練習をし、実力を蓄えてメダルを取れる位置で勝負に挑みましたから、そのとおりの結果になりました。でも、金メダルを取るつもりだったので、正直、満足はしていません。

「プレッシャーは感じませんでしたか？」

自分は緊張していないと気が抜けてしまうタイプなので（笑）、プレッシャーを感じながら試合に

(ながしま・けいいちろう) 昭和57年北海道生まれ。3歳からスケートを始める。高校3年のときに長距離から短距離に変更し、わずか3カ月で全日本ジュニア選手権大会500m優勝。本学在学中の平成16年、初出場のW杯長野大会500mでいきなり3位となり注目される。同年のユニバーシアードでは500m優勝。卒業後、日本電産サンキョー（株）に入社。平成18年のトリノ五輪では500m13位に終わるが、同年のW杯ヘルンペーン大会（オランダ）500mでW杯初優勝。以後4年の研鑽の結果、バンクーバー五輪で銀メダルを獲得。

臨んだ方が成績は良いんです。でも、今回の大会でも、それほど注目されていたわけじゃないですよ（笑）。

まあ、今回、銀メダルを取っちゃいましたから（笑）、これから先、受けるプレッシャーは経験したことのないものになるでしょうね。注目されて、どんどんモチベーションが上がって成績が伸びるか、雰囲気にもまれて固まっちゃうか、自分がどうなるのかちょっと楽しみですよ。

「30代のスプリンター」への挑戦

「遅咲き」といわれますが、今までのスケート人生を振り返っていかがですか？

小・中学校では、野球やバレーボールもやりましたが、チームプレーは苦手でした。その点、スケートは自分の力一本で勝負できるので、性に合っていると思います。でも、試合も練習もすべて自分一人の責任で行いますから、手を抜くことはできません。

よく、「ライバル」とか「目標にする選手」について聞かれます

「おれ流」でつかんだ銀メダル 雑草魂はさらに上を目指す

「おれはおれ！」。他の選手の滑り方や練習方法をまねすることはありません。

長距離で芽が出なくて、短距離にシフトしたのが高校3年。世界ジュニアの代表に選ばれるというようなエリートコースを歩んできたわけではありません。だから、エリートに勝つてやる、自分より注目されている選手に勝つてやる、そうやっていつも自分のテンションを高く保っていました。

さて、いち早く4年後の「ソチ」への出場を宣言されましたね。そここのころの思いをお聞かせください。

スプリンターには瞬発力が一番重要ですが、年齢とともにその力は落ちてきます。だから30代のスプリンターっていいんですよね。4年後、自分は31歳なので年齢的には微妙ですね。でも、そこで金メダル取っちゃったら、カッコいいかな？（笑）なんて思っています。

今までは、すべての照準はバンクーバーにありました。これからは、4年後のソチを直接意識するのではなく、試合を積み重ねてレベルアップしていきたいと思っています。注目されると力を出せる性質なので、多くの人に注目してほしいですね。応援よろしく願っています。

「日大のスケート部は、規律が厳しかったな。でも、あちこち合宿に行っ、みんなで練習したことは思い出になっています」



スピードスケート 長島圭一郎 選手

(日本電産サンキョースケート部所属)
平成17年文理学部体育学科卒業



(上) 平成21年8月、カルガリー夏合宿。バンクーバー五輪に向かって海外合宿のスタート
(下) 平成21年9月、帯広合宿。チームメートの小原選手(右)と(撮影:米田昌浩)

長島圭一郎選手をメダル獲得に導いた日大OB・今村俊明(昭和60年経済学部産業経営学科卒業) 監督の著作

「崖っぷち監督」がメダリストを二人生むまで

バンクーバー五輪で2人のメダリストを生んだ今村俊明監督。トリノ五輪の不振から、スケート部の再建を求められ、数々の苦難を乗り越える中で獲得した「崖っぷちの人材育成論」とは。さらに、バンクーバー五輪までの軌跡や競技当日の状況、コーチなど関係者の声も幅広く収められ、五輪の裏側が臨場感をもって語られている。



著者: 今村俊明・宮部保範・門脇正法
定価: 1,500円(税込)
出版社: KKベストセラーズ

21 長島圭一郎選手の「サイン色紙」と今村俊明著「崖っぷち監督」がメダリストを二人生むまで」をセットにして抽選で3名さまにプレゼント。詳しくはP.56をご覧ください。

入賞者の声

日大魂たぎる 夢と感動をありがとう！

今年2月12日から28日の17日間にわたって開催された 第21回オリンピック冬季競技大会(バンクーバー2010)。日本大学からは卒業生・在校生 合わせて7名の選手が参加し、銀メダル1個、入賞2人という結果を残した。

日本の皆さんを燃えさせたレースができて、満足です！

ソルトレイクとトリノという2度のオリンピック出場経験と、これまでの練習のすべてをかけてバンクーバーに臨みました。

7位という結果には満足はしていませんが、後半8km過ぎてから集団を抜けてトップに出たときは、「日本の選手がトップに立った！」と皆さん、盛り上がりつつあったのではないのでしょうか。このようなレースができたことは、自分のスキー人生の中でも満足のできるものだと思います。その後、失速してしまいました。そこでスパートしなければ集団から抜けられなかった。あのレース展開には納得しています。幼いときから、厳しく「走り」の指導をしてくれた父も複合の選手だっただけに、自分のことのように喜んでくれました。帰国後は、テレビなどに出る機会が多くなり、スキー以外の世界に接する楽しさを味わっています。

練習以外の時間は、読書や映画鑑賞などでリフレッシュしています。



女子クロスカントリー-30km 石田正子選手 (JR北海道スキー部所属) 平成15年文理学部体育学科卒業

5位入賞

校友の皆さま、バンクーバーオリンピックでは、たくさんのご声援をいただき、本当にありがとうございます。ありがとうございました。

「成績を出さなければ」と臨んだバンクーバーで結果を残すことができ、正直ほっとしています。多くの方から「おめでとう」と声を掛けられたり、スポーツ以外のイベントに参加することが増えたこと、入賞するってすごいことなんだ」と改めて実感しました。ゴールしたときは疲れ切っていました。

だが、落ち着いてみると自分の体が「これ以上無理」という状態でもなかった。もうちょっといけるかな？」と、次への意欲も出てきました。

選手村のあったウィスラーの町は歓迎ムードいっぱい。わたしは選手に温かく接してくれ、競技の緊張を和らげてくれました。試合後、町を散策する機会があり、ホットドッグを食べたのが良い思い出です。

ゴールした瞬間は満足感でいっぱいでした

ノルディック複合 個人ノーマルヒル 小林範仁選手

(東京美装グループスキー部所属) 平成18年経済学部経済学科卒業

7位入賞



特に本が好きで、海外遠征にはいつも数冊持っています。今回は司馬遼太郎の「竜馬がゆく」を持っていました。竜馬の生き方には感動しましたよ。

バンクーバーに照準を合わせてトレーニングしていたので、4年後のオリンピックのことを考えることができました。ただ、今の競技規定では、ジャンプより走

りの方が重視されているので、走るほうが得意な自分には有利な状況になっています。4年後は31歳になりますが、今は30歳を過ぎてもがんばって成績を出している選手も多いので、これからの競技を通して、今後のことを考えたいと思っています。

来年2月には、オスロで世界選手権が開催されますし、秋田では国体があります。秋田出身の自分としては、両親や親戚に勇姿を見せたいですし、日本の皆さんに、スキー競技の楽しさを感じてもらいたいと思います。皆さん、応援よろしくお願いします。

い出です。街角にホットドッグの屋台がたくさん出ていて、大鍋に入っている食材を選んでトッピングするらしく、みんなが注文するのを見よう見まねで、買ってかぶりつきました。また、町へのバスで偶然、行きも帰りも一緒になった青年がオーストリアのアルペン選手で、気さくに話をしてくれました。4位入賞！あの人、こんなに強い選手だったの！と改めて「オリンピック」を実感しました。

4年後の「ソチ」ですが、開催国であるロシアという国には、とても興味があります。以前、ロシアで開催されたワールドカップに参加したとき、ウィンタースポーツに熱心で、大観衆の歓声に感動しました。そういう環境の中で、ぜひ競技をしたいですね。そのためにも、まず来年2月のノルウェーの世界選手権に焦点を合わせてがんばりたいと思っています。これからも、応援よろしく願います。

悔しさをバネに、来年の世界選手権に臨みたい

3回目のオリンピック。結果を出したいと臨んだバンクーバーでした。皆さんからも多くの力をいただき、結果に結び付けるよう努力しましたが、気持ちと体調がうまく重ならず、悔しい結果となりました。来年2月、クロスカントリー1発祥の地・オスロで世界選手権が開かれます。伝統の地で、今回の経験を糧に全力を尽くして挑戦したいと思っています。今後とも、応援よろしく願います。

女子クロスカントリー出場 夏見 円選手

(JR北海道スキー部所属) 平成13年文理学部体育学科卒業

反省する点は多くありますが、8年ぶりに30kmの競技に出場できたことは、わたしにとって一つの成果でした。長距離に対応した練習をせずに臨んだレースでしたが、きちんと体が付いてくれたので、持久力に自信がも



特別企画

バンクーバー五輪報告

小林範仁選手の「サイン色紙」、石田正子選手の「サイン色紙」、夏見円選手の「サイン色紙」を各々抽選で3名さまにプレゼント。詳しくはP.56をご覧ください。

ドラマづくりに夢を賭けた男が 作家・山崎豊子の悲願をかなえた『沈まぬ太陽』

映画監督・テレビディレクター

若松 節朗さん

昭和47年芸術学部放送学科卒業



S e t s u r o W a k a m a t s u



©2009「沈まぬ太陽」製作委員会

かつて、何人もの監督が映画化を試みては断念し、映像化不可能と言われてきた『沈まぬ太陽』。原作者・山崎豊子の「これを映像化しないで、わたしは死ねない」という切なる願いに応え、映画化に挑戦。メガホンを握った若松節朗監督は見事、第33回日本アカデミー賞最優秀作品賞の栄冠を手にした。

原作にほれ込んだ人たちが皆で作りました作品

——日本アカデミー賞最優秀作品賞、おめでとうございます。受賞のときは、どんなお気持ちでしたか。

日本映画界の最高の荣誉ですから、本当にうれしかったですね。メガホンを取っているときは、賞のことを意識することなど、まったくなかったけれど、ノミネートされてからは、そりゃあ、取りたくてたまらなくなりました(笑)。

『沈まぬ太陽』の映画化を実現することに、原作者の山崎豊子先生をはじめ、製作者である角川歴彦さん、出演者、スタッフたちも皆、強い思い入れがありました。全員一丸となって作り上げた作品ですから、受賞が決まった瞬間は、うれしさというより、監督として責任を果たせたという安堵の思いでいっぱいでしたね。

でも、自分で作っていてなんだけど、3時間22分の映画って、やっぱり長いね(笑)。

——『沈まぬ太陽』を映画化したいと思われたのは、いつのことでしたか？

ある役者さんから勧められて、原作を読んだのが平成16年。女房とバリ島に旅行したときに、文庫本5巻を持っていったんです。読み始めたら止まらなくなっちゃって、旅行に行ったのに、ホテルから一歩も出ずに一気に読破しました。

ほくが持ち合わせていない魅力をもった主人公・恩地元(はしむら)という男をスクリーンで追い求めたくて、映画関係者に会うことに、この作品の映画監督を「やりたい、やりたい」と言っていました。オファーがあったときは「やったー!」でしたね。

——映像化不可能と言われていただけに、苦勞も多かったのでは？

クランクインまでが一番大変でした。膨大な原作を映画サイズの脚本にまとめるのに苦勞しました。シナリオの内容やキャラクターを含め、山崎先生と何度もやりとりしました。先生

映画『沈まぬ太陽』のDVDを抽選で3名さまにプレゼント。詳しくはP.56をご覧ください。

うな調和型のタイプがあると思
いますが、ぼくは後者。現場で
は、皆が納得いくまで意見を出
し合って進めていきます。今回
も、主役の渡辺謙さんをはじめ
役者さんたちと、セリフ一つに
ついて、どのくらいやりとりし
たか分からない。意見を聞かせ
ていくうちに、お互いのテンシ
ョンが上がっていき、同じ呼吸
ができるようになります。そう
すると、いい作品になりますね。

今回の映画は、『沈まぬ太陽』
を映画化することにやりがい
を感じてくれる俳優さんやスタッ
フばかりでしたから、本当にや
りやすかったです。

ぼくは、撮影中、役者さんの
体温を確認するために女優さん
にだって触れるんですよ。相手
が自分と同じ温度になって、テ
ンションまで高まっていないと
演技にOKを出せない。反対に、
ぼくが女房とけんかしてテンシ
ョンが下がっていると、どんな
にいい演技をされても、それを
見逃してしまってOKが出せな
いんです(笑)。

高校生のとき、NHKの『虹
の設計』というドラマを見て、
ドラマづくりを将来の仕事にし
たいと思い、放送学科に入学し
ましたが、大学は紛争の真った
だ中で、入学して1カ月目から
翌年の夏まで、ロックアウト！
でもそれが、ぼくにとってはラ
ッキーだった。いくつものアル
バイトをやりました。帝国ホテ
ルのショーの照明、デパートの
鮮魚店の販売、クリスマスに
はサンタクロースの格好をして

ケーキを売ったり……。おかげ
で、いろいろな人や出来事を観
察できました。この経験が、ほ
くの仕事の下地になっています。
**年齢は関係ない！ 目的があれば
ば怯まずにがんばる**
常に意欲的にお仕事されて
いる監督のリフレッシュ法は？
作品を撮った後は、必ず家族
と旅行に出ます。『沈まぬ太陽』
完成後は原作に出会ったバリ島
に行き、バリの神々に映画の成
功を感謝してきました。ぼくに
とって家族は大切な存在。仕事
でへこんでいるときも、何気な
く支えてくれてる。女房から、
作品をあんまり褒められたこと
はありませんが、『沈まぬ太陽』
だけは褒めてくれて、いろんな
人に宣伝までしてくれました。

今後、どのような作品を作
つていきたいですか。
ぼくが今一番好きな役者さん
は渡哲也さん。ぼくに「ああ、
ドラマの世界にいてよかったな」
と思わせてくれる、気さくで、
人間味のある魅力的な方です。
そんな彼を主役に、老人と若者

「苦労しても、すぐ忘れちゃう」と言う監督。し
かし、アフリカやイランなど広範囲な海外ロケ
を含む撮影は4カ月半に及んだ。通常の映画の
撮影期間は長くて2カ月だから、記録的な長さ
である。「製作費も通常の4倍以上かかりました
から、成功させなければ、腹切りものでしょう。
プレッシャーも大きいけれど、ぼくの場合は、
持ち前の鈍感力で乗り切った。鈍感って力にな
りますよ」



©2009「沈まぬ太陽」製作委員会



は原作作成時、取材から執筆、
出版まで並々ならぬご苦労をさ
れただけに、この作品への思い
入れがとても強い。こちらも映
像化する上で譲れないものもあ
る。やりとりを重ねるうちに、
先生が描いた企業の不条理に、
男の友情や家族の姿を絡めてい
く脚本が出来上がり、先生にも
ご納得していただきました。
完成した作品をご覧いただい
たとき、先生が、「こんなに涙の
途切れることのない映画を見た
ことはありません」と人目もは
ばかり号泣されたんです。わ
たしも感極まりました。この仕
事をして本当によかったと思っ
た瞬間です。
**演じる人と同じテンションにな
らないという画は撮れない**
「ご自身は、完成された『沈
まぬ太陽』をご覧になって、い
かがでしたか？
役者がいい！ 今どき、こん
な「大人の映画」はないぞって
思いました。企業の不条理に立
ち向かう主人公・恩地の数十年
を、短い撮影期間で演じ切った

渡辺謙さんはずいぶん、「誠実で
いい人」のイメージの三浦友和
さんが、親友である恩地や仲間
を裏切り、企業の必要悪に手を
染めていく行天四郎役を見事に
演じてくれた。2人の息詰まる
やりとりで、男の友情とその裏
にある屈折した気持ちが絶妙に
表現できました。
映画を見て気付かれた方もい
るかもしれませんが、今回、ナ
レーションを入れませんでした。
過去の山崎作品にはナレーショ
ンがあったので、先生に「ナレ
ーションは嫌い？」と言われた
けれど、「わたしたちの役者を信
じてください。先生のおっしゃ
りたいことを全部表現します」
とお話ししました。結果的には、
映画全体が引き締まり、演技が
引き立ちました。「王道の映画」
づくりができたと思負していま
す。
監督はどのようなやり方で
作品を作られていくのですか。
監督には、黒澤明監督のよう
にリーダーシップをとるタイプ
とアンサンブルの指揮をするよ

カザルスホールにて
「いいホールですね。ロケに使いそうです」と監督

(わかまつ・せつろう) 昭和24年秋田県生まれ。本学卒業後、(株)テ
レパックを経て、(株)共同テレビジョンに入社。以降、テレビディレ
クターとして、数々のドラマの演出を手掛ける。主な作品は「しゃぼ
ん玉」「お金がない!」「振り返れば奴がいる」「やまとなでこ」「弟
「熟年離婚」など。平成12年、映画監督初作品の「ホワイトアウト」
で、第24回日本アカデミー賞優秀監督賞を受賞。映画監督3作目と
なる平成21年の「沈まぬ太陽」で、第33回日本アカデミー賞最優秀
作品賞を受賞し、日本映画界の頂点に立つ。

沖縄尚学高校ボクシング部監督

金城 眞吉さん

昭和44年文理学部体育学科卒業



練習に泣いて 試合で笑え 練習、練習、練習 ただそれだけ “ボクシング王国・沖縄”を築いた男

具志堅用高、上原康恒、浜田剛史、平仲明信、新垣諭……かつてその闘いぶりが日本中の血をたぎらせた沖縄出身のボクサーたち。驚くことに彼らは皆、ある指導者に出会ったことで世界の頂点へと羽ばたいていった。金城眞吉。沖縄をボクシング王国にした伝説の人物である。

鮮烈だった男同士のファイト
現役時代の悔しさが名伯楽に

早速ですが、ボクシングとの出会いからお聞かせください。
昔、米軍のキャンプ瑞慶覧という基地の体育館で兵士によるボクシングの試合をやっていたんです。中学生のとき、いそこがそれを見に連れていってくれたのが最初です。そこで見た男同士の血と汗のファイト。感動しましたね。それで、小さいころから空手をやっていて腕には自信があったから、おれだってやれると思ひ、始めたんです。
—— 高校生のとき、国民体育大会に出場していますね。

県立南部農林高校の2年生のときです。本土復帰前でしたが、「少年」の部に出場しました。全日本チャンピオンと対戦し、善戦しましたが判定で負けました。

しかし、このときの試合内容が注目されたようです。
—— で、高校卒業後、日大へ進まれた？
いえ、スポーツの特待生として誘われたのですが、社会に出たいという思いが強く、1年間米軍基地で働いていました。でも、いろいろと縁があって、翌年、日大に入学することになりました。4年間、合宿所生活でした。当時の仕送りが月30ド

ルでね。1ドル360円の時代ですが、お金が足りなくて首都高速の料金などでアルバイトをやっていましたよ。
—— 大学での戦績はどうだったのですか？
オリンピック選手になった先輩もいて、みんな強かったですね。とにかく歯が立たない。悔しかったですよ。初めて挫折感を味わいました。それでも4年生まで選手としてがんばったのですが、3年生のときに監督から「卒業したら沖縄に帰って若い子を教えたいんだらう？ だったら指導者の勉強もやってみないか」と言われまして、コーチとしての勉強を始めたんです。

具志堅用高の才能を磨く
指導のために自宅をジムと察に

その後、沖縄に戻られて興南高校のボクシング部監督に就かれた。その辺りの事情をお聞

かせください。

当時の興南高校は新設から間がなく、部活動の充実を図っていました。そんなときに沖縄のボクシング関係者が「金城という日大の選手が戻ってくるから、指導者に迎えてボクシング部をつくらないか」と高校に提案したそうです。これがきっかけで、興南にボクシング部ができることになり、わたしは体育の教員として採用されて、ボクシング部を指導するはずだったんです。ところが、教員に空きがなくて採用待ちになった。そんな折、消防署の職員募集があり、受験したら合格。その直後に高校から採用通知があったのですが、既に消防に決めていたので教員は断りました。でも、興南ではボクシング部の指導だけはしてくれということになりました。うれしかったですね。

Shinkichi Kinjo



高校生を指導する金城さん。取材中であっても、ちょっとでも気を抜いている子を見つけると喝を入れ、体を張って指導した

金城さんが現在指導している高校生と。損得抜きで指導してきた金城さん夫婦は生徒たちにとって「おやし」であり「おふくろ」である



創部が昭和44年。47年には、具志堅用高さんが入部ですね。

具志堅は高校からボクシングを始めたんですが、とにかくひたむきで、わたしのアドバイスを一言も聞き漏らすまいとしていた。それに何よりひらめきがありましたね。ボクシングには言葉や身ぶりでは伝えられないものがあるって、自分でひらめかないと伸びないのですが、彼にはあったんです。

具志堅はインターハイで優勝し、大学に進学してオリンピックを目指すはずでした。ところが、東京に行ったら入学前にプロのジムに入っちゃったんです。それを知ったときには怒りましたね。プロにするために東京にやったんじゃないって。プロの世界は甘くない。一つ間違えれば、体を壊して一生をダメにすることもあるんですからね。具志堅は「世界チャンピオンになっておわびします」と謝りにきたけど、わたしとしては複雑でしたね。

自宅に私財を投じてジムと

寮を造られたのはいつのことでしたか。

昭和57年だったと思います。どうしてそこまでおやりになるのでしょうか？

離島や県外から教わりにくる子が多くなりましてね。みんなアパートを借りるんですが、練習ですぐバテる。理由を聞くとパンとかラーメンとかしか食べていないんですよ。ちゃんとした食事を取っていないと、ボクシングの練習はできませんよね。食事は妻が作り、腹いっぱい食わせてやりましたよ。

それと、消防士は隔日の24時間勤務体制だから、練習は1日置きにしか見られない。自宅にジムがあると、妻が代わりに練習を見守れます。そういう事情が重なって、生活を丸ごと引き受けようと思ったんです。

食事代とかはどうされているのですか？

公務員だったから下宿代なんてほんのわずかしが取れない。はつきり言って大赤字です。でも、妻がやりくりし、なんとか

30年近く続けられました。まあ、ばかんでしょうね(笑)、子供たちに取りつかれている。妻からはボクシング以外に何も無い人と言われますよ。確かに散歩

していても、この坂道を子供たちに走らせたら足腰を鍛えられるなんて、そんなことばかり考えているから間違っていないですね(笑)。

練習に泣いて 試合で笑え 高校生チャンピオンを続々輩出

何しろ、結果が素晴らしい。インターハイや国体で日本一になった教え子が30人を超える。何かコツがあるんですか？

そんなもの、ありません。でも、「練習に泣いて 試合で笑え」が信条。ボクシングは殴り合いのスポーツでしょ。撃つこと防ぐことを体で覚え込まさせなければならぬ。それには練習しかない。少しでも気を抜けば、試合で泣くことになる。リングで打ちのめされている教え子なんて、わたしは見たくありません。だから進歩がない子、頭だけで分かったつもりでやってい



(右上) 平成9年4月、興南高校ボクシング部監督を退任する際に開かれた「金城眞吉監督御夫妻激励・懇親会」で、教え子の元世界チャンピオンと。左から上原康恒、具志堅用高、金城さん、清子夫人、浜田剛史、平仲明信。(上左) 高校時代、米軍基地内の大会「インターサービス」で極東チャンピオンの米兵と試合をする金城さん。(下左) ジム内には、金城さんの金言や高校生チャンピオンとなった教え子の写真、取材を受けた新聞や雑誌の記事がずらりと並ぶ。「苦痛なくして勝利なし」は金城さんがもう一つの信条とする言葉



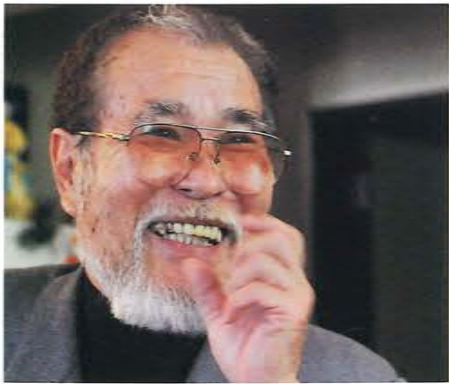
る子を見ると怒りがこみ上げてくる。「まだ、そんなことやっているのかっ！」って怒鳴り上げて、どこがダメなのか何度も何度も体を張って教えますよ。何しろ徹底して練習、練習の繰り返し。きつと、憎まれてはいるはずですよ(笑)。

ところが、みんな慕っている。うーん、どうでしょうか(笑)。ただ、この子、悩んでいるなど思ったら喫茶店に連れて行って、ジュース飲ませながら話を聞く。気分転換にステーキを食べさせたり、カラオケにも連れていきますよ。やはり、息抜きっていうのも必要ですから。

ボクシング経験を生かし社会で活躍 そんな教え子の姿がやりにい

そこまでボクシングに打ち込まれる理由は？

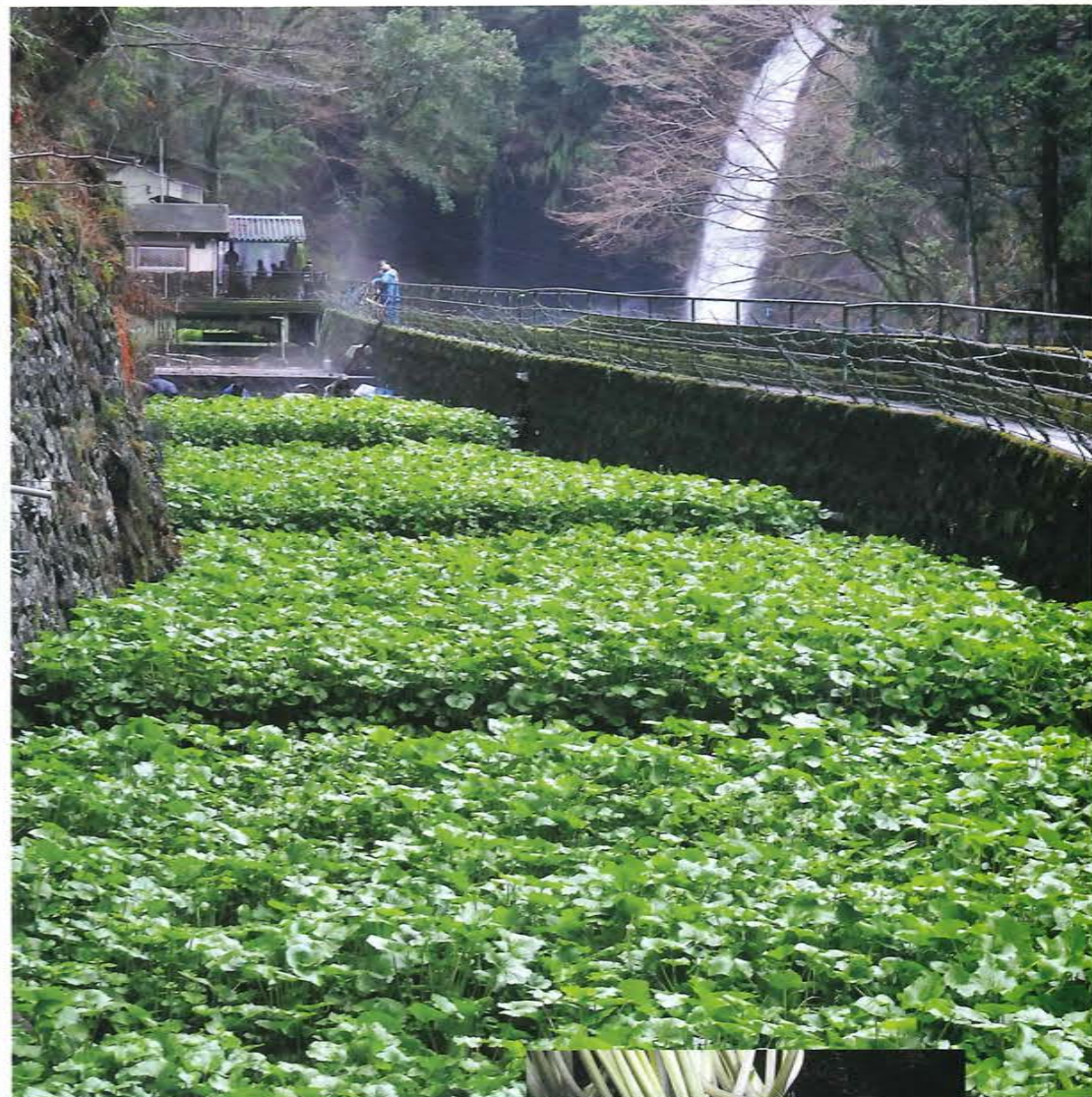
「ヤマトンチュに負けるな」という思いが原動力だとよく言われますが、それだけじゃない。暴走族のリーダーだった手の付けられない子を預かったことがありましてね。うちでボクシン



グをやったことがきっかけで、今では立派な社会人になっています。その子以外でも、ボクシングで人生が変わり、今では大きな会社の社長になったり、市議員になったりした元ワルが、うちにはいっぱいいる。そんな連中が、ボクシングをやった良かったと思ってくれば最高じゃないですか。だからやっているんでしょね(笑)。でも、やるからには勝ってほしい。どんなワルだろうが練習はビシビシやりましたよ(笑)。

大人ももっと指導してみたいですね。わたしはナショナルチームの強化スタッフなので、今でも大学生や社会人を教えています。けど次の瞬間、もう修正ができています。高校生と違いレベルが高いから反応が早く、やりがいがあります。でも、プロのトレーナーにはなりません。プロのジムから今もたくさん誘いはありますが、全部断っています。お金のためではなく、オリンピックで金メダルを取るような世界レベルのアマチュア選手を育てたい。昔からそうでしたが、この歳になっても、それが夢です。

(きんじょう・しんきち) 昭和19年沖縄県生まれ。本学卒業後、那覇市消防本部に就職。同時に沖縄・興南高校ボクシング部監督に就任。公務の傍ら29年にわたって指導し、多くの高校生チャンピオンを輩出した。その中から世界チャンピオンが連続生まれたことから「ボクシング王国・沖縄」を築いた立役者といわれる。平成9年から沖縄尚学高校ボクシング部監督。練習に厳しい反面、人情に厚く、陰で支え続ける夫人に感謝を忘れない愛妻家でもある。日本オリンピック委員会(JOC)強化スタッフ。日本アマチュアボクシング連盟普及委員。



ワサビ田は水はけのよい壘石式。豊富な水量のおかげで一年中ワサビを安定収穫できる。奥に見えるのは浄蓮の滝



辛みの後に清涼な香気
天城で育った
第一級のワサビ

溪流の清冽な水で育ち、天然の息吹をまると蓄えたワサビ。ツーンと鼻を突き抜ける辛みとさわやかな香りが、すし、刺身、そばとさまざまな料理を引き立てる。

ワサビの生産量日本一の静岡県にあって、伊豆天城のワサビは質量共に一番。中でも丸岩安藤わさび店のものは特に評価が高い。

100年の歴史を受け継ぐ3代目・安藤敏男さん。「うちのワサビは、『ツーンとくる辛みの中に清涼な香りが吹く』って、みんなが喜んでくれる」。丹精込めたワサビ田を潤すのは、天城山系の伏流水が湧き出した清水。水温が年間11〜15℃と一定し、窒素、リン酸、カリウムなどが含まれる水で、この水なくして良質なワサビは育たない。手間も掛かる。田に汚れが残っていると次の苗がうまく成長しない。「手間暇掛けて手入れするからこそ、胸を張って誇れるワサビを提供できます」。

「甘みさえ感じる日本のワサビ」を世界中に広めたいとがんばる安藤さん。今日も、朝日とともにワサビ田に向かう。

安藤わさび店のワサビ漬で収穫された「生わさび」を抽選で3名さまにプレゼント。詳しくはP.56をご覧ください。

丸岩 安藤わさび店

安藤 敏男さん
昭和46年商学部商業学科卒業
(あんどう・としお) 昭和23年静岡県生まれ。本学卒業後、ワサビ加工会社で1年間働いた後、実家の老舗・丸岩安藤わさび店を継ぐ。平成16年度内閣総理大臣賞と農林水産大臣賞、19年度農林水産大臣賞を受賞したワサビ栽培の第一人者。品質は海外でも認められ、アメリカやフランスにも輸出している。年1度、全国のワサビ田を巡る勉強家。



【本店】
営業時間 ● 8:30~16:30
定休日 ● 毎週火曜日
住所 ● 〒410-3206
静岡県伊豆市湯ヶ島191-5
TEL0558-85-0016

【浄蓮の滝支店】
営業時間 ● 8:30~16:30
定休日 ● 毎月第1火曜日
住所 ● 〒410-2400
静岡県伊豆市湯ヶ島滝下3378-2
TEL0558-85-0860

H P ● <http://www.maruiwa.jp/>



一口メモ
「わさびは春夏秋冬それぞれ楽しめる。春は花、葉、茎。冬は実も美味しいよ」と安藤さん。葉や茎などは甘酢漬けに。塩もみ後、さっと湯に通して水にくぐらせ、三杯酢に漬ければ、2、3日で食べられる。香りと味を味わいたければ、わさび井がおすすめ。おろしたてのわさびに花ガツオをかけて醤油を落としてかき混ぜる。炊きたてのごはんにかけて食べれば、鼻を突き抜ける辛さの後に、ほのかな甘みが…。特にお酒が過ぎた翌朝は効果絶大！

自分たちだけの旅を演出 絶景に魅了され楽しむ渚の露天風呂

JR函館駅から車でわずか15分。開湯350年余の歴史をもつ函館の奥座敷・湯の川温泉に到着する。ここで、一番人気の旅館が「湯の川プリンスホテル渚亭」。人気の秘密は115の客室に設けられた温泉露天風呂。「部屋の畳と湯舟が同じ高さになっているので、湯舟に視線が邪魔されず、部屋から美しい景色が存分に楽しめます」と話す河内孝善さん。晴れた日には、対岸の北半島まで見渡せる。

海を望む客室でくつろぎ、宿自慢の大浴場露天風呂に身を任せれば、渚から吹く潮風と潮騒が心地よい。目をやれば、函館山に沈みゆく夕日と茜色の空。季節によっては、イカ釣り船の幻想的な漁火も楽しめる。夕餉の膳は食事処で、道産もち豚、北海かれい、道産馬鈴薯など地元産の山海の幸が満載。「すし、洋食、中華にも腕利きの職人をそろえている」とあって、自分の好きな料理を選べるコーナーもあり、どれも絶品尽くし。海を独り占めの贅沢な湯浴みと自分好みの食を存分に楽しむひととき——自分だけの至福の函館がここにある。



読者への特典
「桜緑見たよ！」で
ワンドリンクサービス
(平成22年12月31日まで)



湯の川プリンスホテル渚亭のオリジナル清酒「渚の雫」を抽選で3名さまにプレゼント。詳しくはP.56をご覧ください。

湯の川 プリンス ホテル渚亭

河内 孝善さん
昭和55年芸術学部文芸学科卒業
(かわち・たかよし) 昭和32年北海道生まれ。湯の川プリンスホテル常務取締役。本学卒業後、中央競馬ピーアール・センターに入社。JRAの制作物の企画・編集、イベントなどに携わる。平成4年、実家が経営する湯の川プリンスホテル入社。前職の経験を生かしてホテルのパンプレット作りを手掛けることも。函館湯の川温泉旅館協同組合副理事長。



施設 ● 特別室3 和室158 洋室7 和洋室7
収容人数600名 宴会場200名 会議場100名 食事処&レストラン [ピュッフェ・鉄板焼き・すし] 大浴場・露天風呂 [ひのき風呂・サウナ(高温・中温)・寝湯] 温水プール ゲームコーナー カラオケボックス マッサージルーム

交通 ● 車：函館空港から5分
JR函館駅から15分

住所 ● 北海道函館市湯川町1-2-25
TEL 0138-57-3911
FAX 0138-57-3916

H P ● <http://nagisatei.info/>



一口メモ
河内さんのおすすめは、冬の函館。「ほこだてクリスマスファンタジー」では、例年12月1日から12月25日まで、金森赤レンガ倉庫前にイルミネーションで飾られた巨大なもみの木を設置。点灯と同時に花火が打ち上げられ、異国情緒豊かな北の街に光のページェントが繰り広げられる。河内さんいわく「冬の函館は、熟年夫婦が恋人に戻れる街ですよ！」。



病院のスタッフと副院長と呼ばれている愛犬のココアとともに。みんな元気で笑顔満点。

“目のプロ”として 地域医療に尽くすことが生きがい

ののむら眼科 院長
野々村 章栄先生
昭和54年医学部医学科卒業



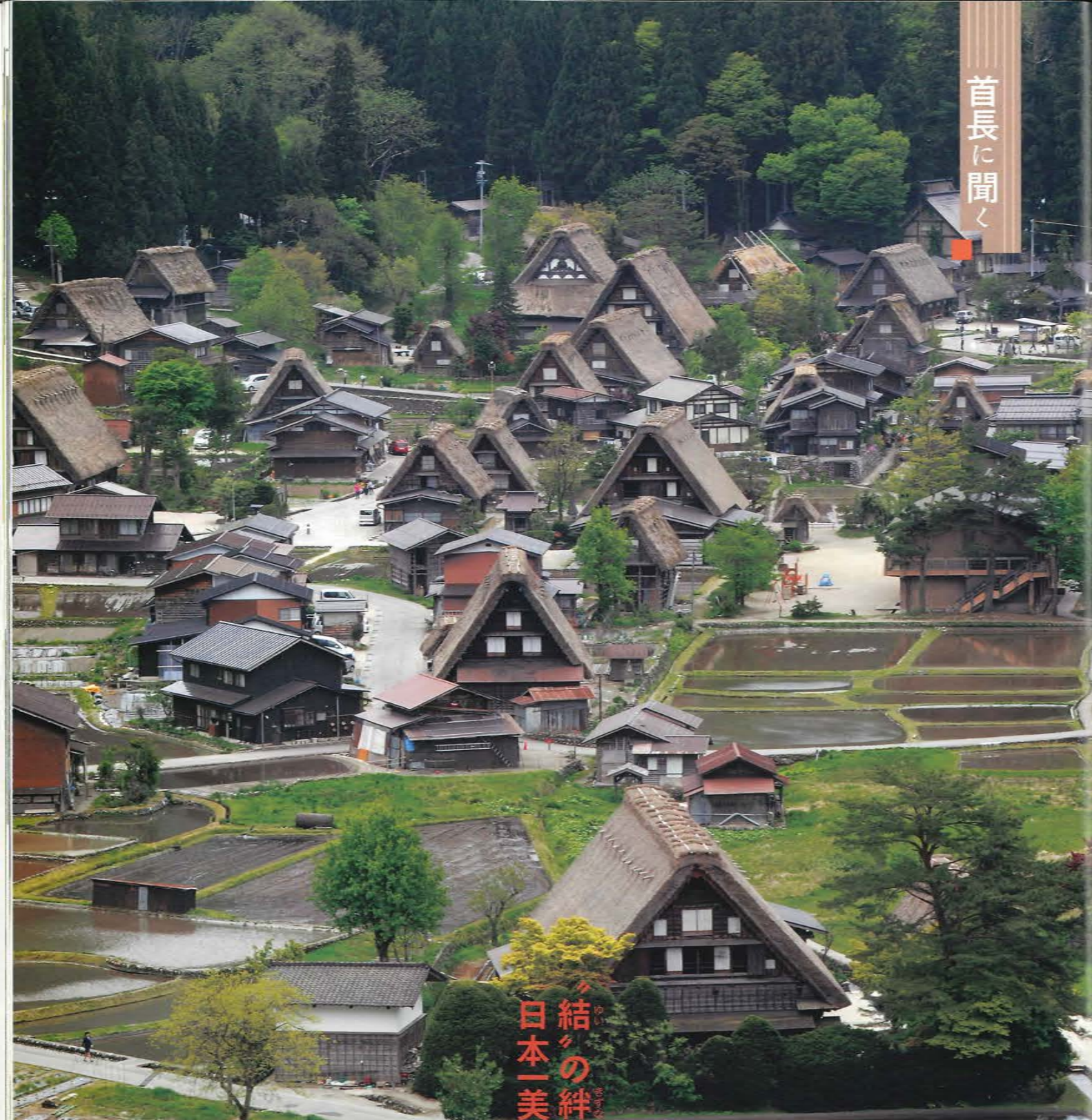
(ののむら・あきえ) 昭和29年東京都生まれ。博士(医学)。本学卒業後、日本大学駿河台病院で10年間勤務。滋賀医科大学に勤務していた夫との結婚を機に滋賀に移り、滋賀医科大学からの派遣眼科医として園内の病院で8年勤務。平成16年、ののむら眼科を開業。

琵琶湖の南端、湖水が流れ出る瀬田川の東に広がる住宅地にある、ののむら眼科医院。診療時間を過ぎてもやってくる患者さんたちにも笑顔で対応する野々村章栄院長は、病气以外の相談も気軽に持ち掛けられる、頼もしい地域の医者さん。

「同じ眼科でも、症状ごとに専門医がいる大規模病院では、特定の症状の患者さんだけを診てきました。でも今は、どんな目の病気をもらった患者さんも来ます。だから、毎日が勉強です」。

結婚を機に大津に移り住んで20年。都会育ちの先生を地元の人たちは何くれとなく手助けしてくれた。「今あるのも皆さんのおかげ。恩返しの意味でも、毎日がんばって診察しています」。

近くの小・中学校の校医も務める。登下校時、医院の前を通るのは見覚えのある子ばかり。「みんながすくすくと育っていくのを見るのが楽しみ」と先生。地元の人たちに「健康な暮らし」という幸せをもたらしている。



結の絆で 日本一美しい村つくらまいか

岐阜県大野郡白川村。豪雪地帯として知られ、かつて、冬にはすべての交通手段が途絶する山間の孤村であった。しかし、この地理的条件は、密閉された樽が良質の蒸留酒を作り出すように、この村を日本の山里の原風景として成熟させ、その完成度の高さは世界的な評価を得た。平成7年、合掌造りの家屋とそこに広がる田園風景が世界遺産に登録されたのである。現在、人口約1、800人の村は、国内外から年間160万を超える観光客を集める。そんな、魅力ある村を作り上げ、現在も村の舵取りを担う谷口尚村長に話を聞いた。



白川村村長
谷口 尚さん
昭和41年農獣医学部獣医学科卒業

(たにくち・ひさし) 昭和18年岐阜県生まれ。本学卒業後、昭和41年に獣医師として岐阜県に入庁。44年、白川村役場に奉職し、農林課長、建設課長、総務長などを歴任。教育長時代には、世界遺産登録の総括役として大活躍した。平成11年、白川村村長に当選し、現在3期目。趣味はゴルフ。「芝を歩くのがいい」という。



■首長に聞く

「結」が村の危機を救う
 今、守らなければ、永遠に失われる。——白川村の有志が、合掌家屋の保存に乗り出したのは、そんな強い危機意識からだった。昭和40年前後、日本は空前の高度成長の熱気の中にあつた。国土開発の手は、山深い白川村にも伸びた。特に昭和35年に完成した御母衣ダムの建設では、ダムに沈む集落が集団離村し、村の文化の継承に大きな影を落とした。さらに、「古民家ブーム」の影響で、多くの合掌家屋が売買され、売られた家屋は解体され、村外に移設された。

「ショックでしたねえ」。昭和44年、村に戻った谷口尚さんが目にしたのは、櫛の歯が抜けたような村の姿だった。既に30戸近くの合掌家屋が売られていた。危機感を募らせた荻町地区では、昭和46年、「白川郷荻町集落の自然環境を守る会」を結成し、長野県の妻籠宿の町並み保存運動をモデルとし、「売らない 貸さない 壊さない」をスローガンにした。合掌家屋は本物か？という問題である。村の歴史は火災の歴史。古い資料はほとんど残っておらず、審査に提出する資料がない。そこで、考え出された方法が、ちようど建て替え時期を迎えた家屋の修復作業をビデオに撮り、資料として提出することだった。

「合掌家屋は数十年で屋根が葺き替えられるとしても、「結」によって修復技術が正しく継承されている本物だと訴えました」。ところがこれが逆に、世界遺産委員会から高い評価を受け、登録の決定打となった。「結」という村の結束が世界に認められたんですよ。

村の伝統を守るには自治
 単独村として生きる道を選択
 谷口さんが村長となったのは平成11年。このころから、市町村合併が白川村でも検討されるようになった。平成14年には「飛騨はひとつ」を合言葉に飛騨1市2郡の15市町村で構成される「飛騨地域合併推進協議会」が組織された。白川村では、集落ごとに座談会を開き、合併の是非について話し合

(右)「世界遺産の登録では苦労したけれども、この白川村の合掌家屋と自然風景と伝統文化を次代に受け継ぐことは、それ以上大変ですよ。しかし、この村に残されているものには、土地の民衆の英知が詰まっています。これを村民と一体となって守っていきます」と語る谷口村長。(下)小中一貫教育となる村の学校。効率性だけでなく、小さな子から大きな子までが一緒に学べる環境づくりも村の将来を考えてのこと。ここで学んだ子供たちが、将来の白川村の伝統文化の担い手となる



保存活動を開始した。活動を支えたのは、「結」という独特の強固な自治制度だった。「結」とは合掌家屋の屋根の葺き替えに、労働力を提供し合う相互扶助制度です。この「結」が村民の自治意識の基礎にあつたからこそ、村の文化伝統の維持存続にいち早く動いたのだと思います。「結」による家屋再生技術の伝承
 世界が認めた村の伝統継承術
 平成3年、谷口さんは村の教育長に就任する。翌年には、荻町集落が世界遺産の暫定リスト入りし、登録に向けて動き始めるというときだったが、村全体が登録に賛成していたわけではなかった。「このころ、村は既に年間60万人もの観光客が訪れる観光の村になっていました。世界遺産に登録されると、家の改築などが厳しく規制されて暮らしなどに支障が出る。そこまでして世界遺産になる必要があるのか、と懸念する声もありました。でも、先人から受け継いできた村を残したいと説得を重ねました」。登録を目前に別の問題も現れ

いを続けた。その中でクローズアップされたのが「合併しなくても自分たちで村をやっていきけるのか」という問題。合併の是非は、この財政問題の一点に絞られた。「幸い、村には7つの発電所の固定資産税などにより村民税が安定的に入ってくる。財政的になんとかやっていける目算があつたので、単独村の道を選びました」。村を存続させるため、税収の先細りや高齢社会による歳出増を見越して行政のスリム化に着手。職員や村議会議員数の削減に取り組んだ。また、村の学校も小中一貫とし、図書館、体育館など共通で使える施設は一つにし、少しでも無駄を省いた。

白川村の未来に向けて
 白川村は、インターネット回線のブロードバンド化をいち早く行った。谷口村長が、ヨーロッパの小さな村を視察したとき、古い家に現代的なデザイン事務所があるのを見た。聞けば、インターネットがあるから不便はないと言う。「このとき、どんな田舎の村でも情報過疎の村」だけにしていけないと思いました。そして、一昨年、東海北陸自動車道が全線開通し、白川村にも高速道路が来た。「都会の人には分からないだろうけど、この村にとっては新幹線が来たようなものですよ」。通学や通院など村民の生活が便利になるのはもちろん、観光客にとっても白川村は近くなった。「不便だからと村を後にした人もいますが、人が暮らしてこそその村。子供たちに将来もこの村で暮らしてもらいたい。夜、明かりがともっていない合掌家屋を見るのは寂しいですからね」。

現在、白川村は第5次総合計画の下、「自然の美」「白川びとの美」「暮らしの美」が一体となった「日本一美しい村」を目指している。「子供たちが白川村を誇りに思ってくれれば何より。そこに村の未来があります」と谷口村長は目を細める。村の伝統文化の保存に奔走した歳月は、美しい村の景観とともに、「結」という「精神遺産」を磨き上げた。

田園風景の中にたたずむ合掌家屋
 村人総出で行われる屋根の葺き替え
 (下) 四方を高い山に囲まれた白川村荻町集落。山間のこの小さな集落が平成7年、富山県側の五箇山などとともに「白川郷五箇山の合掌造りの集落」として、国内では6番目の世界遺産に登録された。毎年、春先の雪解け時期には、現在でも「結」が中心となって屋根の葺き替えを行っている。

田園風景の中にたたずむ合掌家屋
 村人総出で行われる屋根の葺き替え
 (下) 四方を高い山に囲まれた白川村荻町集落。山間のこの小さな集落が平成7年、富山県側の五箇山などとともに「白川郷五箇山の合掌造りの集落」として、国内では6番目の世界遺産に登録された。毎年、春先の雪解け時期には、現在でも「結」が中心となって屋根の葺き替えを行っている。

田園風景の中にたたずむ合掌家屋
 村人総出で行われる屋根の葺き替え
 (下) 四方を高い山に囲まれた白川村荻町集落。山間のこの小さな集落が平成7年、富山県側の五箇山などとともに「白川郷五箇山の合掌造りの集落」として、国内では6番目の世界遺産に登録された。毎年、春先の雪解け時期には、現在でも「結」が中心となって屋根の葺き替えを行っている。



田園風景の中にたたずむ合掌家屋
 村人総出で行われる屋根の葺き替え
 (下) 四方を高い山に囲まれた白川村荻町集落。山間のこの小さな集落が平成7年、富山県側の五箇山などとともに「白川郷五箇山の合掌造りの集落」として、国内では6番目の世界遺産に登録された。毎年、春先の雪解け時期には、現在でも「結」が中心となって屋根の葺き替えを行っている。

神宮の宇治橋 (三重県伊勢市)



宇治橋●伊勢神宮の参道入口・俗界と聖界の境を流れる五十鈴川に架けられた木造和橋。長さ101.8m、幅8.42m。年間600万人の参詣者を迎える。20年に1度の遷宮の4年前に架け替えられる。20年で1億2000万人が渡るため、橋の耐久性を考え、橋板部分は船大工が担当。和船に用いる「擦り合せ」という技法や、板間にヒノキの皮をほくしたものを差し入れ、雨水の浸食を防ぐ技が使われている。

神領地の民としての誇り 人々を「俗界」から「聖界」へと導く神宮の宇治橋

堀崎 萱二さん

昭和36年工学部(現理工学部)建築学科卒業



(ほりさき・かんじ) 昭和12年三重県生まれ。本学卒業後、大手建設会社勤務を経て、昭和38年家業の建設会社・堀崎組に入社。53年代表取締役社長就任。(社)三重県建設業協会の要職を歴任する。平成10年、伊勢商工会議所副会頭、16年、第62回式年遷宮尾上町奉曳団团长。地元伊勢の発展に貢献。13年黄綬褒章、21年旭日双光章を受章。

昔から、「せめて一生に一度でも」と謳われたお伊勢参り。今も多くの方が伊勢を訪れます。伊勢に住むわたしたちは、神様の土地である神領地の民。「神宮へのご奉仕は当たり前」の精神が、先祖代々受け継がれています。そんなご奉仕の思いを込めたのが、昨年の宇治橋の架け替えです。「宇治橋架け替え奉祝委員会」の実行委員長として、20年間人々の祈りを運んだ宇治橋の渡納を行いました。渡始式の後、「宇治橋渡り始め国民総参宮」を無事に務め、万感の思いが込み上げました。

また、宇治橋と遷宮の大切さをアピールするため「全国宇治橋架け替えキャラバン」を実施し、同時に伊勢の人々の神宮への思いをより深めようと活動いたしました。

毎月1日の早朝、宇治橋を渡り、内宮へ向かいます。特に雨上がり、山々に霧が立ち込める山水画のような風景が気に入っています。伊勢に住む誇りと幸せを感じさせてくれる風景です。3年後は遷宮の年！ 皆さん、神宮にお参りにお越しく下さい。そして、真新しい宇治橋をお渡りください。静かで清らかな空間にいだかれることでしょうか。伊勢は「日本人の心のふるさと」といわれるゆえんを肌で感じていただけたと思います。

トップの肖像

株式会社指宿白水館代表取締役社長

下竹原和尚さん

昭和46年法学部経営法学科卒業



親子二代で築き上げた旅館道 旅館経営はあらゆる日本文化の 素材を駆使する芸術活動

薩摩半島の最南端、風情豊かな天然砂むし温泉で有名な指宿市。東に大隈半島、南西には薩摩富士と呼ばれる開聞岳を望むこの地に一軒の旅館がある。指宿白水館。平成15年、ロシア連邦元大統領・エリツィン氏が静養に訪れ、翌年には、小泉純一郎首相と盧武鉉大統領による日韓首脳会談の開催場所となった。自家用機でやって来るアジアのセレブもいるという。一番近い鹿児島空港からでも車で90分を要する場所にありながら、国内外のVIPをはじめ、多くの人々が続々と訪れる。その魅力の背景には、日本文化の神髄を大切にきた旅館経営の思想があった。

(しもたけはら・かずひさ) 昭和23年鹿児島生まれ。本学卒業後、専門学校でホテル経営を学び、昭和47年に指宿白水館に入社。49年取締役就任。59年取締役専務就任後、大規模な旅館のリニューアルを任せ、現在の指宿白水館のコンセプトを確立する。平成14年代表取締役社長となり、現在に至る。入社以来、「これといった休みはない」多忙な日々を送る。本学在学中に興味を覚えた美術品鑑賞・収集が趣味。陶器を愛でるひとときが唯一、心安まるという。

「宿泊することが旅の目的になる旅館づくり」

広大な敷地に手入れの行き届いた松林のアプローチ……。旅人は海の香漂う風を受けながら、日常の空間から非日常の空間へと意識がなされる。玄関を入れば、海を一望できるロビー。日本の伝統的建築技術を駆使した空間で、そこに飾られた花々や掛け軸に、日本文化の粋が見て取れる。

「お客さまが光、水、音、香、風などを五感で感じていただけるよう、旅館自体に魅力をもたせることを第一に考えています」と話すのは、指宿白水館の2代目社長・下竹原和尚さん。

「現代は核家族化で、日本の古き良き伝統文化を継承することが困難です。わたしは、日本の文化を守っていくのは旅館しかないという使命感をもっております」。

白浜と青い海を借景に造り込まれた約5万坪を誇る日本庭園は、自社に園芸課という部署を設け、一切の維持管理を行っている。

日本古来から伝わる餅つき、節句、お月見などの歳時も再現し、

宿泊客が日本の伝統文化を体験し、その豊かさに親しめるような心配りも施している。

12室の小宿から大型旅館へ時代を見越した戦略で急成長

指宿白水館の前身は昭和22年、社長の父・下竹原弘志現取締役会長が「これからは観光の時代」と鹿児島市中心部に建てた12室の小宿「白水館」に始まる。指宿には35年に進出。美しい白浜とその先に見える魚見岳に、ハワイのワイキキビーチとダイヤモンドヘッドのイメージを重ね、指宿を「東洋のハワイ」として売り出した。旅館の名も「ハワイアンホテル指宿白水館」とした。昭和40年代に入ると、団塊の世代の結婚ブームと大型団体旅行に支えられ、旅館は大盛況。ハワイにはなかなか行けない時代、プールサイドや浜辺にパラソルを置いて、ハワイアンバンドの生演奏で、ハワイを演出し、好評を博した。

ニーズの転換を的確に把握本格的な和風旅館へ

昭和48年のオイルショックにより、日本の高度経済成長は終わりを告げた。下竹原社長が入社したのは昭和47年。社会は大きな変革期を迎えていた。指宿観光も低迷期に入る。

「新婚旅行客が、本土に復帰した沖縄、ハワイやグアムなどの海外へ行くようになり、ハワイのイメージでしかなかった指宿から、お客さまが遠のきました」。

昭和49年、取締役就任した下竹原社長は、白水館の将来を模索する苦しい時代を経験する。

日本は「量から質の時代」に入り、観光にも、これまでにないニーズが浮かび上がってきた。

「女性グループでの温泉旅行がはやり、和風や高級感が好まれるようになりました。そこで、日本文化の息づく旅館への大改装を決断したので」。

下竹原社長はこのリニューアルを主導し、日本情緒や自然、伝統文化に親しめる旅館をつくり上げた。昭和61年、「ハワイアンホテル指宿白水館」は本物指向の和風旅館「指宿白水館」へと変身した。

「父の経営理念を受け継ぎながら、旅館の使命は何かと考えました。結果、「旅館経営はあらゆる日本文化の素材を駆使した芸術活動」という思いに至ったのです」。

平成6年に新築した「元禄風呂」



は、江戸が最も栄えた元禄時代、江戸庶民の社交場としてにぎわった湯屋を再現した。

先代社長の経営哲学を生かしながら、見事に新しい時代の風を受け止めた。下竹原社長は平成14年、トップの椅子を正式に受け継ぐ。

先人が醸成した歴史と文化薩摩人としての誇りをもって

平成20年、指宿白水館は創立60周年と会長・弘志さんの米寿の祝いが重なった。この節目を機に、下竹原社長は、長年心に温めていた「薩摩への思い」を形にした。「薩摩伝承館」の建設である。

「南薩摩は、古くは海外に開かれた日本の玄関口でした。そして薩摩人は、いち早く世界の情勢をつかみ、先見性と指導力で、明治という時代を切り開いたのです。そんな先人たちの足跡と文化を伝えたいと考えていました」。

宇治の平等院鳳凰堂を思わせる建物の中に、薩摩や中国の美術品、陶磁器など約400点が展示され、幕末から明治期にかけての薩摩の歴史や文化が紹介されている。収蔵品には、先代社長が長年



敷地内の海岸そばに設けられたプールからは錦江湾が一望できる。海の向こうに見えるのは大隅半島



(左上) 県内の主な銘柄の焼酎をそろえた「焼酎道場」。ここに宿泊すれば「森伊蔵」「伊佐美」「魔王」など普段では手に入りにくい焼酎も堪能できる
(右上) 美術館の入口を思わせる指宿白水館の玄関
(下) 薄暮の薩摩伝承館。「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」で、一つ星を獲得した。館内には「全權の間(写真右)」「薩摩の間」「民衆の間」「官業の間」などがあり、薩摩の歴史・文化を伝えている



日本の風呂の歴史を再現した「元禄風呂」。脱衣場から空中通路が通り、江戸の湯屋の雰囲気をもたせた「浮世風呂」「江戸石垣風呂」「釜風呂」「樽風呂」など、バラエティに富んだ風呂がそろる

かけた収集した古美術、書画も多い。下竹原社長も若いころから「本物」に触れ、古美術に造詣が深い。まさに親子二代の審美眼がつくり上げた薩摩文化の殿堂である。巨額の費用が投入されたが、平成23年、博多からの新幹線全線開通を見込んだ事業でもある。館内には、高級イタリアンレストラン「フェニチエ」を備え、旅館で饗応される和食との相乗効果も図っている。

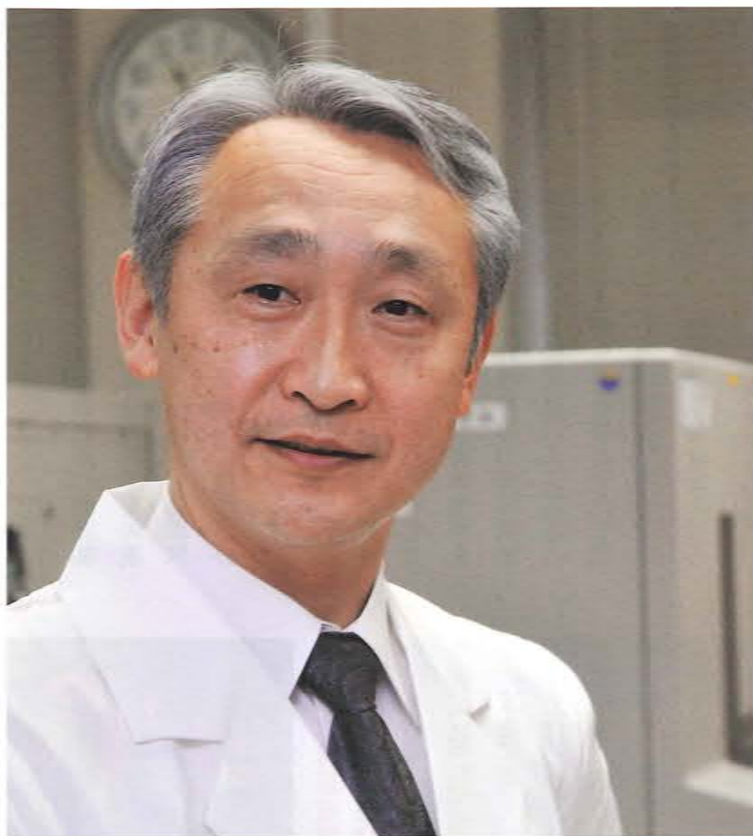
「この旅館には泉質の違う源泉がまだ10本あります。これを活用して、高齢の方やプライベートな時間を楽しめる家族風呂を造りたいと計画しています。現代は十人十色ならぬ「一人十色」。皆さんの心に輝く「宝石のような旅館」を目指したいと思っています」。

時代の流れと地域の発展を見据え、常に「オンリーワン」を目指す下竹原社長。次の「オンリーワン」は、社長の心の中にある。

会社情報
株式会社指宿白水館
設立 昭和22年(鹿児島白水館として)
本社 〒891-0404 鹿児島県指宿市東方12126-12
TEL0993-22-3131 FAX0993-23-3860
HP http://www.hakusuikan.co.jp/

警察の仕事

犯罪捜査は組織で行うもの。協調性に富み、体力を養い、バランスのとれた人間性で実務をこなす人材が求められる



警視庁 科学捜査研究所
第二法医科係長
飯塚直人さん
昭和55年理工学部薬学科卒業

(いつか・なと) 昭和31年東京都生まれ。博士(医学)。昭和59年7月、警視庁入庁。DNA型鑑定及び検査に関する技術の開発・研究及び殺人、凶悪犯罪などの事件解決に寄与した功により、警視総監賞等11件。平成20年には、科学警察の発展向上に寄与した功績により、警察庁長官賞を受賞する。同年3月、博士号取得。

平成20年、東京都内で起きた刑法犯罪事件は21万2152件。大都会東京のどこかで、実に2分30秒に1件の割合で事件が発生していることになる。これらの事件に「東京の治安を守る科学の目!」をスローガンに、科学の側面から事件に携わるのが科学捜査研究所(以下「科捜研」)。

科捜研を舞台にしたテレビドラマを見て、その仕事に興味をもった生産工学部応用分子化学科2年の伊豫夏子さん。科捜研で法医鑑定に従事している飯塚直人さんを訪ね、普段、あまり知られていない科捜研の仕事について伺った。

物的証拠の鑑定は、公判維持を見据えた仕事

「わたしは、テレビドラマで科捜研の仕事に関心をもちましたが、実際、科捜研ではどのような仕事をされているのでしょうか。科捜研は、都道府県の警察本部

に置かれ、科学的な見地から捜査を支援し、研究や鑑定を行う機関です。法医、物理、第一・第二化学、文書鑑定、心理の5科に分かれ、検査と鑑定書作成などの業務を行っています。

わたしは法医科に所属し、血液型鑑定の仕事を行ってきました。現在は血液、体液および骨組織などからDNAの検査・鑑定を行っています。

結果を鑑定書にまとめる際には、鑑定人の個人名を明記しますから、自分の検査には大きな責任が伴います。鑑定書は裁判の証拠にもなるので、鑑定人の立場で、裁判に証人として出廷することもあります。公判を維持するためには、欠かせない鑑定なので、慎重を期し、納得のいくまで検査を繰り返します。

鑑定して結果が出れば仕事が終わるわけではないですね。裁判の証拠に関わる責任の重い仕事

だということがよく分かりました。飯塚先生が、科捜研の仕事を知ったのは、いつのことですか。

家が薬局をしていたので、ごく自然に薬学科に入学したのですが、大学の授業で「裁判科学」という時間があり、ルミノール反応試験(注1)などの実習を経験しました。そのときの指導教官の話から、科捜研の存在を知り、面白いと思ったのがきっかけです。

わたしが入庁した当時、法医の仕事は血液型の検査が主でしたが、平成4年からDNA型検査が導入され、わたしも平成8年からDNA型鑑定の担当しています。近年、精度の高い鑑定法としてDNA型鑑定の要請が増加しました。

技術が仕事を呼び込み、仕事が自分を成長させてくれる

科捜研を舞台にしたドラマは見られますか。当事者としてどんな感想をおもちか、知りたいところですか。

わたしたちもドラマを見ていますよ。けっこうよく作られていると思うけれど、正確に描かれてい

る場面もあれば、「あれ?」って思うこともある(笑)。「あの場面は、けっこう事実に近いね」とか「ああいう検査の環境はありえないね」と楽しんでます。

ドラマでは、ルミノール反応試験を簡単に行っていますが、血液が青白く見えるまで暗視に慣らすには、わずかな光なので真っ暗な状態でないといけない。「本当の暗闇」を現場で作るのは、けっこう大変なんです。

証拠を採取するため、事件現場に行かれることはありますか?

現場に向くことを「臨場」といい、警視庁科捜研の臨場数は年400件を超えます。わたしも、年に何回か臨場要請に応じて現場に行きますよ。現場では、鑑識(注2)が現場写真を撮り、現場に残された指紋や証拠物件を残さず収集します。ルミノール反応試験も、鑑識課員の皆さんが真っ暗闇の環境を作ってくれて、初めてできるものです。科捜研の人間だけではできないものではありません。

鑑識が集めた資料は科捜研に送られ、わたしたちが検査や鑑定を

(注1) ルミノール反応試験

異物が血液かどうかを調べる試験。血液にルミノール試薬を反応させると、血液であれば暗闇で青白く化学発光する。

(注2) 鑑識

ここでは鑑識課の警察官のこと。現場保存、指紋採取や現場写真撮影など、証拠品や遺留品の保全を行う。科捜研の所員が専門職であるのに対し、鑑識課は配属された段階で、鑑識の知識を学ぶ点に違いがある。



行い、捜査に役立っています。科捜研と鑑識は捜査を含めて、いわば三位一体のようなもので、常に密接に連携をとり、協力体制を敷いています。

事件に係わる資料についての相談も受けています。数多くの事件に対応するため、科学捜査の立場から、凶器や遺留品など現場に残された物的証拠を取捨選択して効果的に鑑定・捜査ができるようアド

警察の仕事



女性をきちんと認めてくれ 努力次第で“志”がかなう職場

警察官を目指したのは
少年犯罪をなくしたいから

日本中を震撼させた神戸連続児童殺傷事件が起きたのは、わたしが小学校6年のとき。自分と同年の男の子が被害者で、14歳の少年が加害者という事件に大きなショックを受けました。年の離れた2人の弟に思いが及び、彼らが犯罪に巻き込まれないよう、警察官になって少年犯罪をなくしたい、

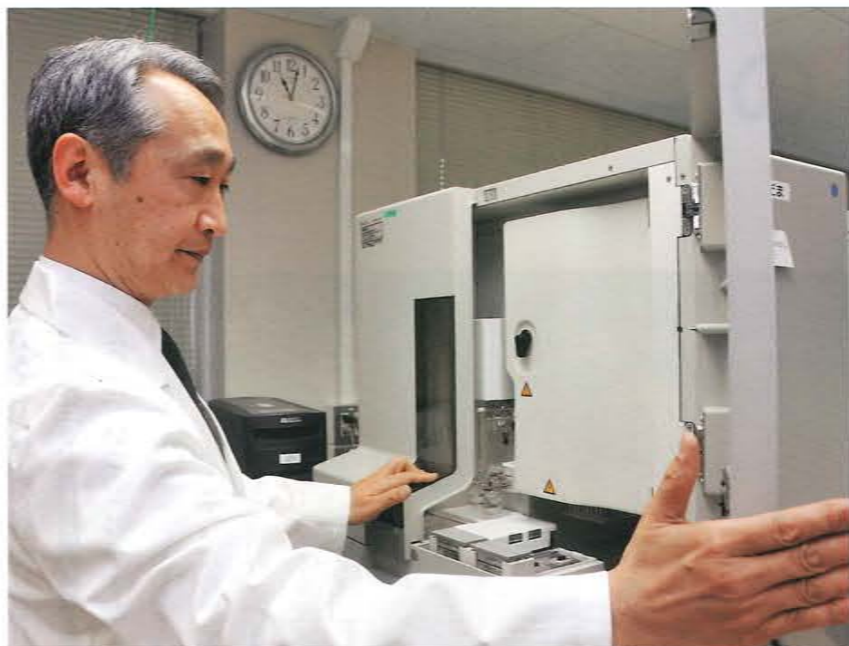
と考えたのが今のわたしの出発点です。

その後、映画に興味をもち、芸術学部に入りましたが、警察官への思いも捨て切れませんでした。そんなわたしの背中を押してくれたのが、恩師の「自分のやりたいことをやるのが一番だ」という言葉。この言葉で気持ちが固まったわたしは、警察官採用試験に向かつて一直線！ 大学3年から

バイスをしています。さまざまな証拠を確認しながら、事件の要となる資料を選別するのは、推理小説を読み解いていくような感覚がありますね。

— 今までで印象に残った鑑定はありますか？

鑑定を経験を積み、技術が身に付き始めたころ、ごくごく微量の



血液の鑑定を任せられました。事件現場に残された血液は、病院の検査で採取した血液とは違って、微量だったり、時間がたって腐敗していたりして、鑑定が難しいのです。ですから、うまく血液型を検出できたときは、「やったー」と思いました。上司にも認められましたが、何より自分の腕に自信をもつことができましたね。技術が身に付けば、難しい鑑定の仕事を任せられる。それをクリアして、また成長する。仕事が自分を成長させてくれるんだと実感しました。

**科捜研は特殊な職場ではない！
社会人としての基本が大切**

— 最後に、科捜研の仕事を目指す学生のために、やっておいてよかったと思うことや、仕事に必要な資質をお教えください。

まず、英語ですね。今や、分析機器のマニュアルは英語が多く、それをきちんと読み込まなければ操作できませんから、英語の読解力は必須ですよ。ドラマで存在が知られるようになって、科捜研を志望する人が増えました。けれど、研究や分析だけを突き詰めて行お



伊豫 夏子さん
生産工学部応用分子化学科2年

テレビドラマを見てから、科捜研の仕事に興味をもっていましたが、今回、飯塚さんから、具体的な仕事内容や現場のお話を伺ったことは、とても貴重な経験になりました。

事件現場から犯人に結び付く証拠を分析するには、技術だけでなく、警察官の人たちとの協調性が大切だというお話がとても印象的でした。また、学生のうちに視野を広げ、たくさんの知識をつけておくことが重要だということも分かりました。今のわたしにも実行できることがたくさんあるので、教えていただいたことを行動に移していきたいと思っています。インタビューを通じて科捜研にさらに興味がわいてきました。

うと思う人は、科捜研よりも大学や企業の研究室向きだと思えます。意外に思われるかもしれませんが、うちは事務的な作業も多い職場です。

どんな仕事でも「仕事をする」ということは一緒。まずは、何を指示されようときちんと対応できる素直な姿勢が大切です。分らないければ聞けばいい。どんな社会でも、仕事を覚えるまでは「耐える」ことが必要ですよ。あとは、やる気。

現場検証は長時間に及びますので、体力が必要だし、捜査や検証は大人数で行うから、協力して仕事ができることが重要です。一緒

に仕事をする人に、ちゃんとあいさつができるなど、礼儀をわきまえる。要するに、社会人としての基本的な行動がとても大切なのです。今この瞬間にも、寝食を忘れ、命懸けで事件に取り組んでいる刑事さんたちがいます。そういう姿勢を意気を感じて取り組まなければならない仕事だと思っています。

— 科捜研の仕事は研究や分析作業だけではなく、多くの人と協力し合いながら進めていく仕事だということですが、よく分かりました。わたしもこれから、勉強するだけでなく、社会人として恥じる。このない行動ができるように気を付けていきたいと思っています。



横田 沙織さん
平成20年芸術学部映画学科卒業

（よこた・さおり）昭和61年東京都生まれ。本学卒業後、1年間、民間企業に就職しながら警察官採用試験に挑戦。昨年、警視庁入庁。同年9月に現部署に配属される。本学在学中は応援リーダー部に所属し、チャリティーイベントの全国大会に出席。好奇心旺盛で、明るい性格。料理が趣味という一面も。

勉強を始め、公務員試験用の問題集を繰り返し勉強しました。でも、結果は不合格。理数系の問題に苦手意識があり、そこに時間をかけなかったのが敗因でした。

失敗してかえって「絶対警察官になってやる」という気持ちが強くなりました。企業で働きながら苦手科目を徹底的に勉強した結果、2度目の挑戦で合格しました。

**警察には女性だからこそできる
仕事がたくさんある**

交通課に配属されてから1年足らずですが、交通ルールの遵守と交通マナーの向上、交通安全意識の普及、交通取り締まりなど、どんな仕事でも楽しくて仕方がありません。自分の仕事が地域の安全と犯罪の防止につながり、社会の役に立っていることが誇りです。

警視庁にはさまざまな課があり、幅広い内容の仕事に就くことができます。わたしは「少年課」を希望していますが、最近「刑

夢に向かって!

海が好き! 海の生物が好き!
海の生態を多くの人に知らせたい

魚津水族館 飼育員 村山早紀さん
平成19年生物資源科学部海洋生物資源学科卒業



(むらやま・さき) 昭和59年神奈川県生まれ。ダイビングで沖縄県の海に魅せられ、本学卒業後は琉球大学大学院に進学、沖縄県の瀬底島で海洋生物の研究を行う。同大学院修了後、平成21年、富山県の魚津水族館に就職。現在は、サンゴ礁域の生物を担当。大型水槽で魚への餌付けショーなども行う。



海洋水槽の“お食事タイム”で餌付けしている村山さん



魚津水族館
大正2年、日本海側で最初に創立された水族館。「北アルプスの深淵から日本海の深海まで」「日本海を科学する」を基本テーマに展示
<http://www.city.uozu.toyama.jp/suizoku/>

ボランティア活動で知った水族館の面白さ

大型水槽に人影が現れると、優雅に泳いでいた魚たちの動きが一変する。魚津水族館の「お食事タイム」だ。「突進してくる魚がぶつかるとけっこう痛いんです」と、餌付けに奮闘する村山早紀さん。

水族館の仕事に興味をもったのは大学2年になる春、新江ノ島水族館でのボランティア経験だった。海の一部を切り取って展示する楽しさとともに、工夫をすればもっといい展示ができると感じた。その後、ダイビングで沖縄の海に魅せられ、沖縄の海の生態をもっと知りたいと思った。沖縄でのフィールドワークを卒業論文にまとめ、琉球大学大学院に進学して研究活動が続けた村山さん。

沖縄では「美ら海水族館」で実習した。「わたしはどんな作業も自分でやれたかったので、一定の範囲で、水槽の管理や展示を任せて

くれる魚津水族館を、仕事の場を選びました」。

手作りの展示で試行錯誤の毎日

現在、担当している水槽は10個以上。朝早くから餌の準備やショーの用意に大忙しだ。「お客さまが楽しめる展示やショーを考えても、そんなことなど魚たちはお構いなし。生き物相手の仕事は一筋縄ではいきません。試行錯誤の毎日です」。その上、水族館のブログでは、村山さんが興味をもった生物の生態や特色を紹介。休日には、他の水族館や美術館まで見学し、展示のアイデアを吸収している。

最近では、富山の海にも潜っている。「暖かい沖縄の海では見たことのない魚たちがいっぱいいて楽しいです」と村山さん。今後は、いろいろなことに挑戦してみたいが、海から離れるつもりはない。海の向こうに、村山さんの夢が広がっている。

お達者通信

下関の水族館
そば、関門海峡
を前に見るビル

に「特急はんや」という珍しい屋号が掲げられている。吉村益吉さんが会長を務める印章業の会社だ。吉村さんは海軍から復員後、義父が大阪で営んでいた印鑑屋で修業。生まれ育った下関に64年前、店を移して独立した。以来、お客さま第一をモットーに「特急」で仕事を受けてきた。それが信用につながり、会社は地元官公庁や銀行、大手企業から指名されるまでに成長。米寿を迎えた今も「仕事が好きだから」と現役で印を彫る。

本学との出会いは昭和47年、50歳のとき。会社経営に必要と専門学校などで経理を学んだ後、新聞広告で通信教育部を知り、すぐに入学を決めた。

「卒業まで8年かかりましたが、学ぶことはずっと喜びでした。多くの方に出会えたことも宝。今も全国各地の校友会活動に参加することが生きがいです」。

そう話し、心は今も「在学中」。体も丈夫で、4階建ての自社ビルを階段で上り下り。若さの秘訣は毎日欠かさずラジオ体操とボランティア活動などで社会と接すること、そして仕事。「88歳の青年」は今日も巧みに印刀を振る。一文字一文字にお客さまへの感謝の気持ちを込めながら。

校友会活動で毎年全国へ、が生きがい 米寿の今も元気で働けることに感謝



特急はんや有限会社取締役会長
吉村益吉さん (よしむら・ますきち)
(大正11年生まれ・88歳)
昭和55年日本大学通信教育部商学部会計学科卒業



(上) 何よりうれしかったという大学の卒業式。武道館前で奥さまとの記念写真
(左) 機械化が進んでも最後の仕上げは職人の手で

特急はんや有限会社
大阪時代から約100年。「お急ぎの方に特急でお応えする」という思いを込めて創業者が付けた屋号と姿勢は今も不変。
住所 山口県下関市南都町26-16
TEL 083-231-8817 FAX 083-223-6600



最新の機械をまさきで購入したという吉村さん。コンピュータ化も早かった。お得意さまのところに飛んでいるように仕事には必ず背広

越後随一の古社・彌彦神社に伝わる 神楽を守り続ける

「万葉集」にも詠まれた彌彦神社。この古格を誇る大社に、国の重要無形民俗文化財に指定された古式ゆかしい舞楽が伝わる。保存継承の指導者は石川文彦さん。この古社の神職である。



彌彦神社神職
石川文彦さん
昭和54年芸術学部放送学科卒業



(いしかわ・ふみひこ) 昭和31年新潟県生まれ。本学卒業後、彌彦神社の神職となる。元々、マスコミで働くことを志し放送学科に学んだが、同社の神職だった父親が病に伏したため、家族の意向を受け入れて父と同じ道を選ぶ。芸術学部で学んだということが同社の目に留まり、途絶えかけていた彌彦に伝わる舞楽の指導者になる。奥様は1学年下の同学、ご長男も本学に在籍中という日大一家。



彌彦おのれ神さび 青雲のたなびく日すら 小雨そほ降る (万葉集巻十六・三八八三)
彌彦神の麓に今日らもか 鹿の伏すらむ姿着て 角つきながら (万葉集巻十六・三八八四)

息を飲む稚児舞の可憐さ

1300年以上前の創建とされる彌彦神社。天を突く杉木立に守られた玉砂利の参道を行き、清らかな本殿の前に立つと、「神の高庭」の靈氣に包まれる。春風に乘って聞こえてくるのは、神韻纏渺たる楽の音。彌彦神社に伝わる舞楽(注1)の一つ「大々神楽」が、参道の傍らの舞殿で今まさに奉奏されている。

なぜ神楽の名が「大々」なのか。「超す」といって神楽というほどの意

の例祭日である4月18日。奉奏は5時間に及ぶ。舞振りには全体を通してゆったりとし、同じ所作の反復の中に小さな跳躍や回転が混じる。大人の舞は独特の面を付け、あでやかで美しい絹織物の装束で舞う。可憐なのが稚児舞である。「舞童」と呼ばれる子供たちが白塗りの化粧に引き眉をし、紫、碧、紅と曲目ごとに異なる古代朝鮮風の色彩の装束で舞う。長々と棚引く袍の裾と袖がそよ風に遊んで翻ると、碧の上襲の下に隠されていた袴の目の覚めるような鮮色が覗く。さながら優雅な花卉が開いたかのよう。

重要無形民俗文化財の継承を担って三十余年

舞童は小学校3年生から6年生までの男子。代々神職の子弟5名が奉仕する定めだったが、現在は定員を8名に増やし、神職、旧世家、氏子の子弟の中から選ばれる。この子供たちを指導する石川さん自身、少年時代に舞童を4年間務めた。父上が彌彦神社の神職だった

からである。「子供のときには自分がこの神楽の指導者になるとは思っていませんでした。」

大々神楽をはじめとする彌彦神社の舞楽は昭和53年、国の重要無形民俗文化財に指定された。それから三十数年、石川さんはこの文化財の継承を担い続けている。その重圧たるや察して余りあるが、当の石川さんは長身でスリムな体型どおり、どこか軽やかだ。「舞楽は大人でもめつたに聞くことがないですよ。まして子供に舞楽に合わせて舞わせるというのは一通りではありません。その上、現代っ子は塾や習い事で忙しいので、毎日1時間のけいこ時間をつくりだすのは大変です。」

指導の苦労を語りながらも表情は明るく、指導の喜びとなれば格別明るむ。「新人の小学3年生がちゃんと舞ってくれたときはどうれしいこととはありません。神楽とは神遊び。石川さんの表情を照らすのは、きつと彌彦の神の喜びなのに違いはない。」



(上)「大納蘇利」を舞う石川さん(右)
(左)舞童4人による稚児舞「弓の舞」。昭和47年、昭和天皇皇后両陛下の天覧の栄に浴した

彌彦神社。御祭神は天照大神の曾孫・天香山命。古来、朝廷、歴代幕府をはじめ、越後の人々のあつい尊崇を集めてきた。朝、神職が古式ゆかしく神饌を本殿へと供える風景に出合った



(注1) 舞楽=舞を伴った雅楽

日本大学 理工学部校友会



6月18日に開催された
今年の通常総会

本会の活動は、理工学部と理工学部の学生の支援を主眼としていること、そして土木、建築、機械など12の分野に分けられた部会が主体的に活動していることが大きな特長です。学科ごとに専門分野が細分化されている理工学部では、分野によって本会に期待する内容が異なります。そのため、各部会主催で、講演会や講習会、勉強会などの学術的な企画が展開されています。

今年、理工学部は90周年——卒寿という記念の年を迎えます。約20万人の会員を有する本会の前身は、大正13年にできた高等工学校校友会（駿工会）です。戦後一時、活動が中断されましたが、昭和23年に校友会工部会（工科校友会）として再建され、以来今年で60年。理工学部校友会は還暦となります。

再就職支援サイトを開設しました。登録企業は校友のいる会社ですが、さまざまな分野の再就職情報が提供されており、今後、理工学部を卒業した有能な人材が、校友のいる企業をさらに発展させていくことを期待しております。

今年から、会員を支援する試みとして、再就職支援サイトを開設しました。登録企業は校友のいる会社ですが、さまざまな分野の再就職情報が提供されており、今後、理工学部を卒業した有能な人材が、校友のいる企業をさらに発展させていくことを期待しております。



馬場 邦明 会長 (左)
昭和40年理工学部建築学科卒業

(ばば・くにあき) 昭和17年東京生まれ。本学卒業後、伊藤喜三郎建築設計事務所にて建築デザインを学んだ後、昭和44年1月サンヨー建設株式会社に入社。50年に専務、平成元年に代表取締役社長となる。趣味人で、篆刻、オーディオ、オートバイ（ハーレーダビッドソン）、ジオラマ、写真と多彩。特に、篆刻は友人の域に達する腕前。地元では安全協会会長に就くなど、積極的な地域貢献を行っている。

(写真右は総務幹事総務委員長 関口克明先生)



会誌「桜工」

日本大学校友会 高知県支部



有澤 駒雄 支部長 (右から2人目)
昭和30年経済学部経済学科卒業

(ありさわ・こまお) 昭和7年高知県生まれ。本学卒業後、高知県の県立高校教員として体育と社会科を教える。陸上部を指導し、昭和47年、高知農業高校を全国高校駅伝で第4位に導く。52年から高知県教育委員会に勤務。平成3年から高知県体育協会専務理事に就き、国体誘致に注力。17年、瑞宝小綬章受章。(写真左から北島清彰さん、宮田隆弘さん、右端が重見信之さん)

高知県支部は運動部の卒業生が部会中心に集まって開いていた懇親会や、医師、獣医師、建築関係の卒業生が行っていた研究会が前身で、これらが発展する形で形成されたようです。記録が残っていないので、始まりははっきりしませんが、支部長はわたしで7代目になります。現在のような支部が形づくられたのは昭和47年のことです。このとき、それまでなかった会則を作ったり、副支部長を置いたり組織の充実を図りました。おかげで会員同士の結束がより強まったと思います。

現在、年一回の総会のほか、医学部同窓会高知県支部の医師を講演者に招き講演会などを開催しています。運動部や学部ごとの活動は、今でも大変活発です。ユニークな活動としては平成8年から2年連続で、全国的に有名な「よさこい祭り」に参加したこと。これは医師の北島清彰先生が中心になって現役の学生たちに呼び掛け、参加したのですが、校友会のよいアピールになったと思えます。ぜひ復活させたいですね。



平成8年、第43回よさこい祭りに参加したときの記念写真

今年6月に竣工した校友会館にも期待しています。会館をキーステーションに各支部との連携が深まれば本学のスケールメリットも生きて校友の活躍の場が広がり、若い人も校友会に関心をもち、焦らずじっくり組織づくりに取り組んでいきたいと思えます。



三弦の糸の調べに魅せられて
盛岡の地で悠々と演じる

芳村伊知駒こと鈴木玲子さん宅にお弟子さんたちが集まり始めた。「駒の会」のけいこ日。迎える鈴木さんは一人一人に声を掛け、笑い声が弾む。

「三味線の演奏は緊張の連続。でも、終わったときの達成感・安堵感は何にも代え難いのです。」

年に一度の岩手芸術祭で腕前を披露していた伊知駒師匠が、自身の会を立ち上げたのは数年前。自らも精進しながら、しかしゆつたりと楽しみ、喜怒哀楽のすべてを三本の糸に託す三味線の響きと魅力を伝えていきたいと思っただけ。以来、弾いて唄って掛け声を掛けつつ、五感のすべてを研ぎ澄まして会を率いている。

けいこが始まると、それまで和気あいあいとしていたお弟子さんたちの目の色が変わった。あてやかながら凛として指導に当たる伊知駒師匠を中心に、ひたむきなけいこに励む。「駒の会」は、鈴木さんにとつてのライフワーク。可能な限り続けていきたいという。

毎年8月には、年に一度の発表会「浴衣会」を、盛岡市内でぎやかに開催する。今年も伊知駒師匠の清らかな三味線の音が、夏の盛岡に涼を運んでくることだろう。

芳村伊知駒こと鈴木玲子さん宅にお弟子さんたちが集まり始めた。「駒の会」のけいこ日。迎える鈴木さんは一人一人に声を掛け、笑い声が弾む。

「三味線の演奏は緊張の連続。でも、終わったときの達成感・安堵感は何にも代え難いのです。」

年に一度の岩手芸術祭で腕前を披露していた伊知駒師匠が、自身の会を立ち上げたのは数年前。自らも精進しながら、しかしゆつたりと楽しみ、喜怒哀楽のすべてを三本の糸に託す三味線の響きと魅力を伝えていきたいと思っただけ。以来、弾いて唄って掛け声を掛けつつ、五感のすべてを研ぎ澄まして会を率いている。

けいこが始まると、それまで和気あいあいとしていたお弟子さんたちの目の色が変わった。あてやかながら凛として指導に当たる伊知駒師匠を中心に、ひたむきなけいこに励む。「駒の会」は、鈴木さんにとつてのライフワーク。可能な限り続けていきたいという。

毎年8月には、年に一度の発表会「浴衣会」を、盛岡市内でぎやかに開催する。今年も伊知駒師匠の清らかな三味線の音が、夏の盛岡に涼を運んでくることだろう。

鈴木玲子さん 昭和45年芸術学部演劇学科卒業

趣味 悠々



伊知駒師匠 (左から3番目) とお弟子さんたち

浴衣会
日時 8月29日(日)
15:00~
場所 直利庵
住所 岩手県盛岡市
中ノ橋通1-12-13
電話 019-624-0441

(すずき・れいこ) 昭和20年岩手県生まれ。本学入学後、幼いころからなじんでいた「長唄」の二文字に引かれて「長唄研究会」に入部。在学中の思い出は、大学と長唄の師匠宅しかないほど長唄に没頭する。先輩には、長唄芳村派唄方として著名な当代の芳村伊十郎さんもいた。卒業後、長唄芳村派の名取になり、芳村伊知駒として「粋茶会」で活動。結婚を機に盛岡に戻る。長唄の表舞台から下りたことは、心残りだったが、現在は「駒の会」を率い、三味線三味の日々を送っている。



賛助会員制度導入決定!

平成22年度の校友会役員総会が7月1日(木)、東京ドームホテル(東京都文京区)で開催されました。総会では、平成21年度の準会員への診療費助成や奨学金、平成22年度校友子女入試の結果、平成21年度の各種運営委員会の活動などが報告された後、平成21年度収支決算、平成22年度事業計画と収支予算、賛助会員制度の導入などが審議され、すべて承認されました。

引き続き、支部・部会への補助費交付と平成22年度校友子女入試特別優待生への賞状授与式が行われました。授与式には、選ばれた学生7人のうち、田中世路奈さん(芸術学部音楽学科)、鶴藤孝俊さん(国際関係学部国際ビジネス情報学科)の2人が出席し、田中英壽会長から賞状を授与されました。

●平成22年度事業計画について

1 各種運営委員会・各支部総会開催計画

2 正会員事業計画

- ① 校友子女入試の推進
(会則第3条第5号「日本大学学生等の募集支援事業」)
- ② 全国校友大会の開催
(会則第3条第3号「会員の福利厚生に関する事業」)
- ③ スポーツの振興と推進
(会則第3条第15号「体育活動助成事業」)
- ④ その他必要とする事業
(会則第3条第18号「その他の必要事業」)

3 準会員事業計画

- ① スポーツ優勝者表彰
(会則第3条第15号「体育活動助成事業」)
- ② スポーツに対する奨励金交付
(会則第3条第15号「体育活動助成事業」)
- ③ 全学文化事業(NU祭)支援
(会則第3条第15号「文化活動助成事業」)

④ 診療費助成

(会則第3条第17号「準会員に対する診療費助成事業」)

⑤ 校友会独自の奨学金

(会則第3条第14号「準会員に対する奨学事業」)

⑥ 校友子女入試の充実に伴う特別優待生制度の拡大

(会則第3条第14号「準会員に対する奨学事業」)

⑦ その他必要とする事業

(会則第3条第18号「その他の必要事業」)

以上

●校友会新規加盟団体について(平成21年度役員総会以降)

ラグビー校門会	日立ビルシステム校門会
日本大学税理士校門会	日本大学バレーボール部校門会
村本建設校門会	(株)加賀田組校門会校友会
日本大学自転車部校門会	ゴルフ部校門会

書籍紹介

オキナワを歩く II III 広島経済大学岡本ゼミナール編
監修/岡本貞雄
(広島経済大学教授/昭和51年法学部法律学科卒業)
発行元/ノンブル社 価格/1,029円(税込)

「桜緑」第13号で紹介した広島経済大学の岡本ゼミナールの学生による沖縄戦跡巡礼の旅。元学徒隊の軌跡を3日間かけて歩きながら、戦争の記憶を伝える試みは、毎年、ゼミの学生により引き継がれ、第2弾、第3弾がまとめられた。六十数年前、負傷兵の看護をする女学生が目当たりした生き地獄が本人の口から淡々と語られる。戦争の無残さ、無意味さを次代に伝えようとする使命感あふれる話を、真摯に受け止めようと努力する学生たち。その姿が収められているDVDを見てから本文をひもとくと、説得力はより深くなる。



凍裂

著者/喜多由布子
(作家/平成8年通信教育部文理学部文学専攻(国文学)卒業)
発行元/講談社 価格/1,575円(税込)

北海道札幌市に住む50歳の主婦・水原睦子。夫と2人の子供。自身は料理研究者としても注目されていた。そんな、幸せを絵に描いたような睦子が、夫・勝一を包丁で刺す。なぜ彼女は夫を刺したのか? 著者は睦子を登場させることなく、夫の同僚、刑事、子供たち、弟、女性ジャーナリストなど、彼女を取り巻く人々の視点で、核心に迫っていく。そして最後に見えてきた真実——モラル・ハラスメントの実態。睦子の断片像をつないでいくうちに、いつの間にか、読者自身が自分の家族や家庭を考えていることに気付く。



Book Review

東京さんぽるぼ
著者/なかだえり
(イラストレーター/平成9年生産工学部建築工学科卒業)
発行元/集英社 価格/1,890円(税込)

本誌「ふるさと礼讃」でおなじみのイラストレーターなかだえりさんの単行本。平成20年4月から今年2月まで、読売新聞首都圏版夕刊に連載された「なかだえりのさんぽるぼ」から、44作品を抜粋したイラストコラムがまとめられている。千住に始まり、築地市場、早稲田松竹映画劇場など、昔ながらの風景や懐かしい料理の数々が、柔らかいタッチのイラストと文章で生き生きと描かれている。最先端に行く東京に残るもう一つの顔を実感。読み進めるうちに、「ちょっと散歩にでも行きたいな」と思わせてくれる。



特別優待生に聞く 喜びと校友への感謝の声



田中 世路奈さん

芸術学部音楽学科1年

- 父が芸術学部OBで、子供のころから日芸の話聞き、憧れていました。また、音楽以外の芸術分野も勉強できると知り、日芸を目指しました。特別優待生に選ばれて両親はとても喜んでくれましたが、何より自分自身、信じられなくてビックリしました。授業も先輩たちに親切にしてください、充実しています。将来はプロとして交響楽団などで演奏できるようにがんばります。



鶴藤 孝俊さん

国際関係学部国際ビジネス情報学科1年

- 家が税理士事務所なので、将来は事務所を継ぐつもりで、高校生のときから父を先生に、税理士の勉強を始めています。今回、特別優待生に選ばれて、父からがんばった結果と褒めてもらいました。今はアジアの国々についての勉強に興味をもって取り組んでいます。社会に出れば、旅行などもあまり行けなくなるので、学生時代に旅行も楽しみ、見聞を広げたいと思っています。

日大iクラブ 日本大学校友会の事業に統合!

今年4月に行われた日本大学本部の組織改編に伴い、これまで日本大学本部総務部iクラブ事務局が事業展開を行ってきた「日大iクラブ」に関する事業は、すべて校友会本部事務局校友課に移管されました。なお、事業が移管されたことで、校友会としてはこれまでの日大iクラブ事業を再検討し、校友の方や在学生がより利用しやすいカード事業の展開を検討するため、新規入会を一時停止しております。皆さまには不便をお掛けすることとなりますが、何とぞご理解のほど、よろしくお願いたします。なお、新規会員の募集については、決まり次第、お知らせいたします。

インフォメーション

- ◎本誌への情報提供、ご意見、お問い合わせは…
この会報は、会員相互のコミュニケーションを深めていただくことを目的に、1人でも多くの校友や在学生の紹介記事を書かせています。お店やお宿を営んでいる方、ユニークな先輩や後輩をご存じの方、自分を紹介してほしいなど、自薦他薦を問いませんので、事務局までお知らせください。
- ◎住所・勤務先が変わったら…
住所、勤務先等に変更がございましたら、必ず事務局までお知らせください。
電話、FAX、メールいずれの方法でも結構です。
- ◎会員証を紛失されたら…
会員証を紛失された際は事務局までご連絡ください。再発行いたします。
- ◎新規会員を紹介したい…
新規に会員希望の方をご存じの方は、事務局までご連絡ください。資料を送付いたします。

- 1 封筒、はがきで
〒102-8275
東京都千代田区九段南4-8-24
日本大学校友会本部事務局校友課「桜緑」係
- 2 電話、ファクシミリで
TEL 03-5275-9300
FAX 03-5275-8330
- 3 電子メールで
E-mail : koyu@nihon-u.ac.jp

桜緑 No.17 2010.7発行

編集・発行 日本大学校友会
〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24
TEL 03-5275-9300 FAX 03-5275-8330

広報委員会

- 委員長：綾部 東洋子
委員：石 光 井上 閑陽雄
内田 章 小橋 恵津
中村 克夫 萩原 正芳
茂木 完仁 鈴木 孝司
斉藤 正道 我妻 治
堀 敏一



編集後記

待ちに待った桜門会館が完成し、6月30日に竣工式が行われました。天気予報では雨が心配されていましたが、幸い雨は降らず、無事、式が行われました。会館に入った第一印象は、大きくないけれど“すてきな家が”という感じを受けました。1階のエントランスホールに置かれた真新しい白い椅子がとてもしゃれています。

さて、今回初めて「桜緑」編集委員の写真を掲載しました。「えっ！ こんなおじさん、おばさんなの!？」とお思いの方もいらっしゃるでしょう。でも、間違いではありません。原稿作成や写真撮影などは外部スタッフの協力を得ていますが、わたしたち12人が企画を立て、取材編集を行っています。年齢を重ねて築き上げた経験があるからこそ、全国で活躍している校友の情報を集められる、そんな自負をもちながら、毎号毎号、心を込めて校友の方々のお届けをしています。(T)

平成22年度日本大学全国校友大会開催について

全国の校友の皆さまにご参加いただき、毎年盛大に催されている全国校友大会が、今年も11月15日(月)に開催されることが決まりました。この大会は、全国の校友と日本大学の役員・教職員が年に一度、一堂に会し交流することで“絆”を深め、同窓としての意識を確かめ合い、日本大学のさらなる発展に寄与することを目的としています。昨年は全国から、これまでで最も多い1,000人を超える校友の皆さまにご参加いただきました。今年はさらに多くの校友の方々にお会いできることを願っております。



平成21年度日本大学全国校友大会

なお、正会員の皆さまには、ご案内を郵便でお届けいたします(10月上旬予定)。校友会のホームページでも告知いたします。

開催日時	平成22年11月15日(月) 午後6時～
会場	東京ドームホテル 天空(地下1階) (東京都文京区後楽1-3-61)
会費	10,000円
申し込み方法	郵便振替による会費振り込みでの申し込み。 詳細は、校友会事務局からの案内をご覧ください。
問い合わせ先	日本大学全国校友大会事務局 (校友会本部事務局庶務課) TEL 03-5275-8143 FAX 03-5275-8330
ホームページ	http://www.nihon-u.ac.jp/

●●● 桜緑No.17 読者プレゼント ●●●

巻末のアンケートにお答えいただいた方の中から抽選でプレゼントを差し上げます。ご希望の賞品番号をアンケートはがきにご記入の上、ご応募ください。なお、当選の発表は商品の発送をもって替えさせていただきます。

01 ヤングシャークスの「オリジナルTシャツ」 抽選で3名さまに	02 林成之先生の本「脳に悪い7つの習慣」 抽選で3名さまに	03 田中ウルヴェ京さんの本「感謝日記」 抽選で3名さまに	04 山本聖子選手「サイン色紙」 抽選で3名さまに
05 長島圭一郎選手の「サイン色紙」と今村俊明さんの本をセットで 抽選で3名さまに	06 小林範仁選手「サイン色紙」 抽選で3名さまに	07 石田正子選手「サイン色紙」 抽選で3名さまに	08 夏見内選手「サイン色紙」 抽選で3名さまに
09 若松節朗監督DVD「沈まぬ太陽」 抽選で3名さまに	10 丸岩安藤わさび店「生わさび」 抽選で3名さまに	11 湯の川プリンスホテル清亭清酒「渚の罎」 抽選で3名さまに	12 谷口尚村長の本と「合掌造り保存修復のすべて」をセットで 抽選で3名さまに
13 白川村の最新村史「新編白川村史(上中下巻)」 抽選で1名さまに	14 指宿白水館オリジナル焼酎「指宿白水館」 抽選で3名さまに	15 喜多由布子さんの本「凍裂」 抽選で3名さまに	16 なかだえりさんの本「東京さんぽるぼ」 抽選で3名さまに